KL-V450

取扱説明書 保証書付

別紙の「はじめにお読みください」をお読みになった後、こちらをお読みください。

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

J Z

はじめに

準備編

おためし印刷編

ラベル作成編

デザインロゴ編

入力・編集編

設定編

付録

RCA503904-001V01

CASIO

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Copyright 2008 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

■本書はKL-V450について説明しています。
付属のソフトウェアについては、「CD-ROM収録のPDFファイル取扱説明書」をご参照ください。

■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらご連絡ください。

■本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。

■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USBケーブルをはずす。
3. プラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する

- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

⚠ 警告

ACアダプター／USBケーブルについて

電源コード／ＵＳＢケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

ACアダプター／USBケーブルについて

- 濡れた手で電源コード／USBケーブルやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- AC アダプター/USBケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプター/USBケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USBケーブルをはずす。
3. プラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

分解・改造しない

本機を分解･改造しないでください｡感電･やけど･けがをする原因となります。
内部の点検･調整･修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

水、異物はさける

水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USBケーブルをはずす。
3. プラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

⚠ 警告

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火ややけどの原因となります。
また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

ACアダプター／USBケーブルについて

ACアダプター／USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コード／USBケーブルを引っ張らない(必ずACアダプター本体／USBケーブルのプラグを持って抜く)
- ACアダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USBケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはACアダプター／USBケーブルのプラグをコンセント／コネクターから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- 電源コードのプラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- 電源コード(特にプラグ部分)、ACアダプター(特にプラグやジャック部分)の清掃には、洗剤を使用しない

⚠ 注意

コネクター部への接続

コネクター部には、指定されたもの以外は接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる

本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障や修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
  皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

高温注意

プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

⚠ 注意

オートテープカッターに注意する

電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（121ページ）をご覧になり、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

もくじ

こんなことができます ····· 11

準備編 ····· 12
各部の名前とはたらき ····· 12
本機を使う前の準備 ····· 14
操作の流れ ····· 14
電源について ····· 15
ACアダプターを使う ····· 15
データの保持について ····· 17
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！ ·· 17
電源を入れる・切る ····· 18
オートパワーオフ(節電)機能について ····· 18
印刷する文章の作り方について ····· 19
テープカートリッジを取り付ける/取り外す ·· 20
テープカートリッジを取り付ける ····· 20
テープカートリッジを取り外す ····· 21
キーのはたらき ····· 22
キーの表記について ····· 23
画面の見方 ····· 24

おためし印刷編 ····· 25
まずは作ってみましょう ····· 25
ラベルを印刷する ····· 25
ラベルを貼る ····· 27
テープを空送りする ····· 27
テープの余白を「送り無」にしたときは ····· 27
終了する ····· 28

ラベル作成編 ····· 29
ラベル作成の流れ ····· 29
操作の流れ ····· 29
フォーマットを選んで作る(用途別ラベル) ··· 30
フォーマットを選ぶ ····· 30
通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング) ·· 32
ナンバリングの種類 ····· 32
大きなラベルを作る(拡大印刷) ····· 34
フリーラベル
自由に入力して作る(フリーラベル) ····· 36
フリーラベルを作る ····· 36
文章をブロックに分ける ····· 36
2行以上のラベルを作る ····· 37
ラベルの書式を決める ····· 38
ブロックごとに書式を決める ····· 38
文章全体の書式を決める ····· 40
ラベルの長さを自由に決める ····· 42
ブロックの長さを設定する(ブロック長固定) ····· 42
ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定) ····· 44
VHS・CD・DVD用のラベルなどを簡単に設定する(テープ長さキー) 44
文章のバランスを整える(割付) ····· 45
ブロック内で文字のバランスを整える ····· 45

フリーラベル
ラベル内のブロックのバランスを整える …… 46
文字の大きさを決める …… 47
文字単位で大きさを決める …… 47
行単位で大きさを決める(フォーマット選択)…… 50
フレームをつける …… 53
縦書きのラベルを作る …… 54
バーコードラベルを作る …… 55
バーコードのタイプ …… 55
バーコードの仕様 …… 57
QRコード®ラベルを作る …… 58
印刷できるQRコード®のタイプ …… 58
伝言板を使う …… 62
値札・メニューラベルを作る(POPラベル)… 63
カレンダーラベルを作る …… 64
宛名ラベルを作る …… 66
宛名の入力 …… 66
宛名ラベルの印刷 …… 67
印刷とカットモード …… 69
カットモード(オートカッター)について …… 69
カットのしかたと余白について …… 72
作成したデータを登録する・呼び出す …… 73
データを登録する …… 73
登録したデータを呼び出す …… 73
登録したデータを削除する …… 74
データのバックアップをする(DATA STOCK TOOL)‥ 75

デザイン・ロゴ編 …… 77
ロゴ入りのラベルを印刷する(デザインロゴ)‥ 77
パソコンにデザインロゴをダウンロードする …… 77
ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する‥ 78
デザインロゴを印刷する …… 80
デザインロゴデータを削除する …… 82

入力・編集編 …… 83
カーソルのはたらきと動かし方 …… 83
ローマ字入力?それともかな入力? …… 84
ローマ字入力とかな入力を切り替える …… 84
入力する文字の切り替え方法 …… 84
ひらがな・カタカナの入力 …… 84
アルファベット(大文字・小文字)の入力 …… 84
ひらがな・カタカナの入力 …… 85
ひらがなの入力 …… 85
カタカナの入力 …… 85
いろいろな文字の入力方法 …… 86
漢字の入力 …… 86
文章を入力してから変換する …… 86
同音異義語を変換する …… 87
漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換) …… 88
漢字辞書を使って漢字を呼び出す …… 89

アルファベットや数字の入力 …… 92
アルファベット(大文字)の入力 …… 92
アルファベット(小文字)の入力 …… 93
数字の入力 …… 93
記号の入力 …… 93
キーに印刷されている記号 …… 93
その他の記号 …… 94
絵文字の入力 …… 94
文字を修正・削除するときは …… 95
間違った文字を消す …… 95
すべての文字を消す(文削除) …… 96
間違った文字を直す …… 96
文字が抜けていたら・・・ …… 98
復帰機能について …… 98
書体(フォント)を変える …… 99
入力済みの文字の書体を変える …… 100
電源を入れたときの書体を決める …… 101
文字を目立たせる …… 102
文字に飾りをつける …… 103
文字修飾を指定する …… 103
文字修飾を取り消す …… 104
よく使う語句を登録する/呼び出す(プリセットタイトル) …… 105
プリセットタイトルを呼び出す …… 105
新しくプリセットタイトルを作る …… 105
プリセットタイトルを修正する …… 106
プリセットタイトルを削除する …… 106
日付や時刻をデータに挿入する …… 107
現在の日付や時刻をデータに挿入する(タイムスタンプ) … 107
指定期間が経過後の日付や時刻をデータに挿入する(タイムスパン) … 108
入力した文字をコピーする・貼りつける(コピー・ペースト) …… 109
文字をコピーする …… 109
コピーした文字を貼りつける(ペースト) …… 110
オリジナルの文字(外字)を作る …… 110
はじめから自分で作る(新規作成) …… 110
本機にある文字を利用して作る(参照作成) …… 111
すでに作ってある外字を修正する …… 112
外字を使う …… 112
登録した外字を削除する …… 112
よく使う語句を辞書に登録する(ユーザー辞書:語句) …… 113
語句を登録する …… 113
登録した語句を修正する …… 113
郵便番号と住所を辞書に登録する(ユーザー辞書:郵便番号) … 114
郵便番号を辞書に登録する …… 114

設定編 ····· 117

設定を変える ····· 117

設定できる項目 ····· 117
ブザー音を消したい ····· 117
画面の明るさを変えたい ····· 117
印刷の濃さを変えたい ····· 118
日付、時刻を設定する ····· 118
サンプルデータを印刷する(デモ印刷) ····· 118

付録 ····· 121

お手入れの方法 ····· 121

綿棒できれいにする ····· 121
クリーニングテープを使う ····· 122

こんなときは(トラブルシューティング) ··· 122
エラーメッセージ一覧 ····· 126
ローマ字入力一覧 ····· 131
記号・絵文字一覧 ····· 133

記号 ····· 133
QRコード®専用記号 ····· 134
絵文字 ····· 134

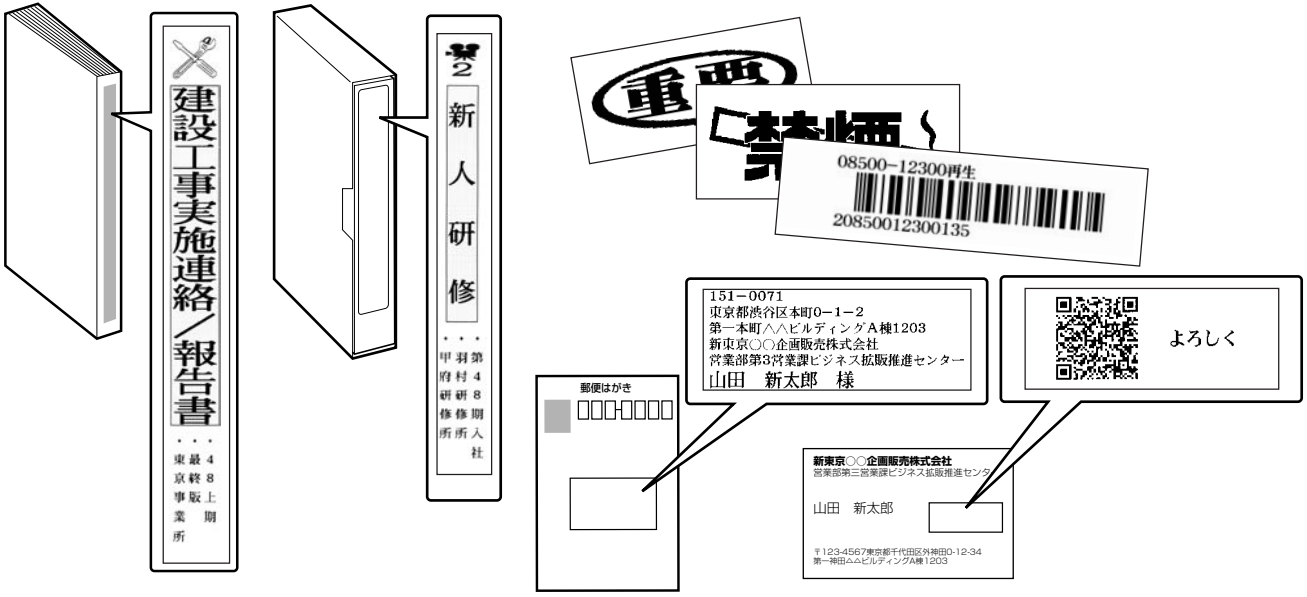
フレーム一覧 ····· 137
用途別ラベルフォーマット一覧 ····· 138
POPラベルフォーマット一覧····· 140
ナンバリングフォーマット一覧 ····· 140
テープ幅と行数・倍率一覧 ····· 140
各機能における使用可能テープ幅一覧 ····· 141
拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ ····· 141
デザインロゴ内蔵データー覧 ····· 142
内蔵漢字一覧 ····· 144
仕様 ····· 158
別売品一覧 ····· 160
索引 ····· 162
保証・アフターサービスについて ····· 164
お客様ご相談窓口 ····· 165

MEMO

こんなことができます

KL-V450だけで簡単に印刷ができます。

ビデオカセットや名前などの定番ラベルから、お好みのレイアウトで作成することができるラベルまで、さまざまな印刷ができます。



デザインロゴモード

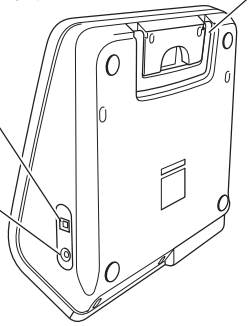
オフィスなどの職場、工事や建設などの現場、病院などでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。デザインロゴは、インターネットのダウンロードサイトからパソコン経由で本機に転送することもできます。

各部の名前とはたらき

USBコネクター
パソコンと接続するときに、USBケーブルを接続します。

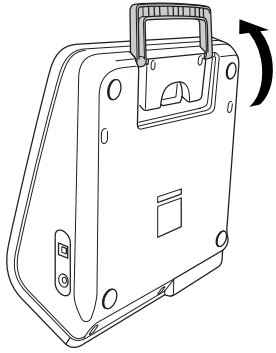
持ち運び用ハンドル

ACアダプター
接続用端子
付属のACアダプターを接続します。



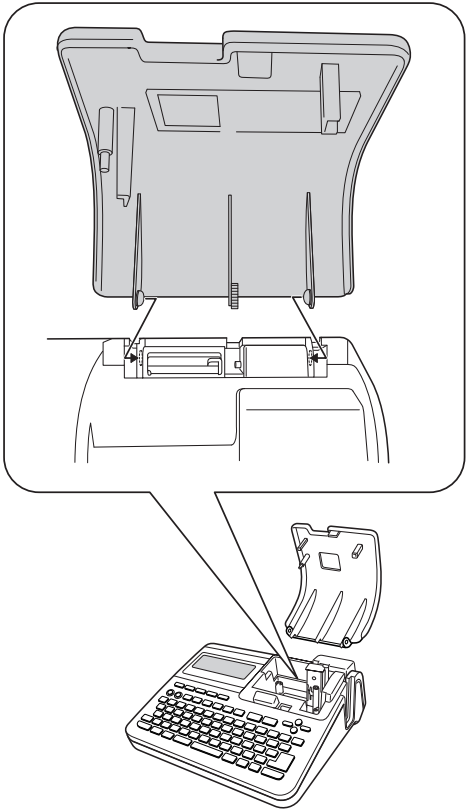
■持ち運ぶときは

本機を持ち運ぶときは、図のように持ち運び用ハンドルを引き上げてお使いください。



■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら

テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。



本機を使う前の準備

操作の流れ

ACアダプターの接続 15ページ

・購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化、日時の設定をしてください。（17ページ）
・メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。

↓

テープカートリッジの取り付け 20ページ

↓

自由に入力して作る
フリーラベル 25、36ページ
フリーラベルの編集機能 36ページ

用途に応じて作る
用途別ラベル
バーコードラベル、デザイン
ロゴなど
30、55、77ページ

↓

印刷する 25ページ

電源について

本機を使うときは、電源として付属のACアダプターを使います。

ACアダプターを使う

付属のACアダプター（AD-2425S）を使用します。

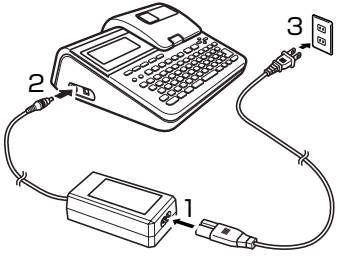
■取り付ける

重要
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。
- パソコンと接続する場合は、ソフトをインストールした後、USBケーブルとACアダプターを接続してください。くわしくは、別紙「はじめにお読みください」の「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」「パソコンと接続する」をご覧ください。

1 電源コードとACアダプターを接続します。

2 ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続用端子に差し込みます。

3 ACアダプターをご家庭のコンセント<AC100V>に差し込みます。



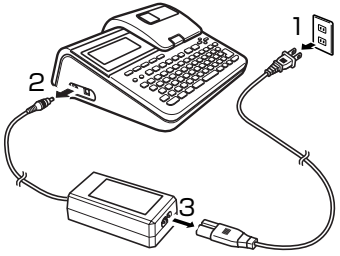
■取り外す

重要
- 印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 電源を切るときは、必ず (OFF) を押してください。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、ＡＣアダプターを取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- USBケーブルを接続している場合は、ACアダプターを取り外す前にパソコンと本機からUSBケーブルを抜き取ってください。

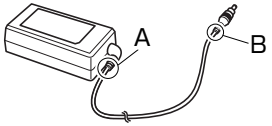
1 コンセントからACアダプターのプラグを抜きます。

2 本機のACアダプター接続用端子からACアダプターのプラグを抜きます。

3 ACアダプターから電源コードを抜きます。



重要 電源コードの両端部分（図のAおよびB）は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。



⚠ 警告

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプター／USBケーブルについて

電源コード／USBケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

ACアダプター／USBケーブルについて

- 濡れた手で電源コード／USBケーブルやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- ACアダプター／USBケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプター／USBケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

ACアダプター／USBケーブルについて

ACアダプター／USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コード／USBケーブルを引っ張らない（必ずACアダプター本体／USBケーブルのプラグを持って抜く）
- ACアダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USBケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはACアダプター／USBケーブルのプラグをコンセント／コネクターから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- 電源コードのプラグは年１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- 電源コード（特にプラグ部分）、ACアダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

データの保持について

- 電源が入っているときはＡＣアダプターを取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 本機に登録したデータ（文字や文章など）は、ノートなどに控えをとっておいてください。また、本機では、登録したデータをパソコンにバックアップ（保存）することもできます（75ページ）。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

1 電源が切れていることを確認します。

画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、(OFF)を押します。

2 印刷と空白をいっしょに押しながら、(ON)を押します。
印刷と空白をいっしょに押し続けたまま、(ON)から指を離します。

「メモリー初期化　実行／取消し」が表示されます。

3 実行を押します。

4 ∧∨を押して、現在の日付や時刻の設定をします。
＜＞で設定したい項目を選択することができます。

- ∨を押すと数字が減り、∧を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。

－日時設定－
2008年 1月 1日（火） 0時00分

5 設定が終了したら実行を押します。

日付、時刻の設定は、後から変更することもできます。
日付、時刻の設定については、118ページの「日付、時刻を設定する」をご覧ください。

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

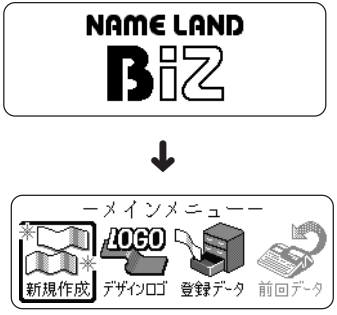
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。
ただし、本機にインストールされたデザインロゴのデータはメモリーの初期化をしても消えません。

電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは ON を押すだけで本機が使えます。

電源を入れるには…

ON を押します。



電源を切るには…

OFF を押します。

- 画面の明るさを調整するときは、117ページをご覧ください。

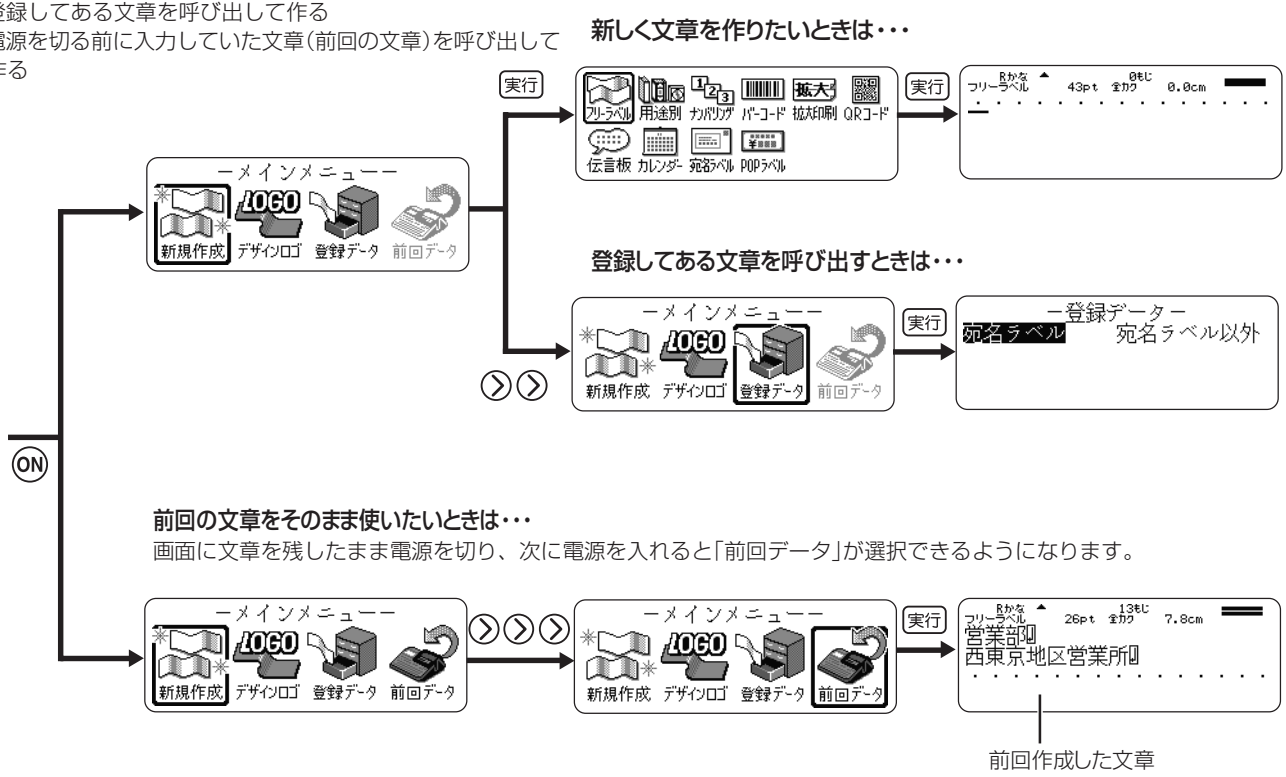
オートパワーオフ(節電)機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。
ふたたび本機を使うときは、 ON を押してください。

- 伝言板(62ページ)を表示しているときは、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- パソコンと接続しているときには、オートパワーオフ機能ははたらきません。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の3つがあります。
・新しく文章を作る
・登録してある文章を呼び出して作る
・電源を切る前に入力していた文章(前回の文章)を呼び出して作る



• メインメニュー画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください。(データの登録→73ページ)

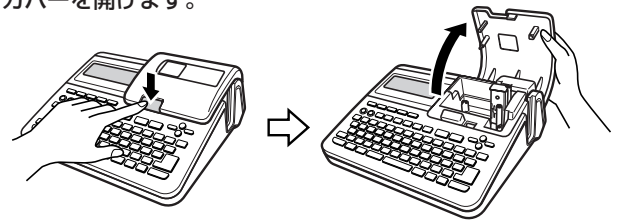
テープカートリッジを取り付ける/取り外す

ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。（別売品一覧→160ページ）

テープカートリッジを取り付ける

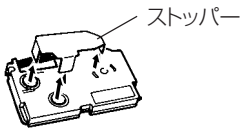
1 **(OFF) を押して、電源を切ります。**

2 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

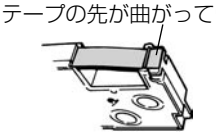


重要 カバーの開閉時には、「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

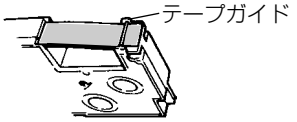
3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



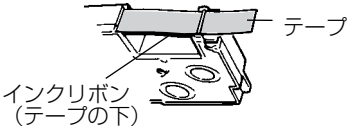
4 **テープの先が折れ曲がっていないことを確認します。**
テープの先が折れ曲がっていたら、ハサミで曲がった部分を切ってください。



5 **テープがテープガイドにきちんと通っているか確認します。**
テープガイドから外れているときは、イラストのようにテープの先をテープガイドに通してください。

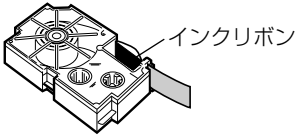


6 **テープを約3cm引き出します。**



重要
- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

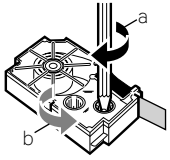
7 **インクリボンがたるんでいないか、確認します。**



重要 インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみをとります

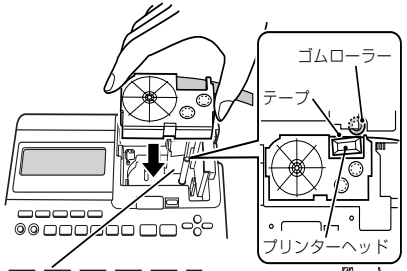
インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回りはじめるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。



8 テープカートリッジをセットします。

インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます(下図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。



プリンターヘッドおよび周りの金属部分は印刷をすると高温になるため、テープカートリッジの交換は、十分に時間をおいてから行ってください。また、この金属部分には触らないように注意してください。

9 テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。

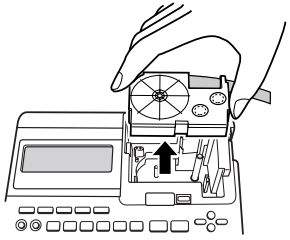
- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

1 (OFF) を押して電源を切ります。

2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

3 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

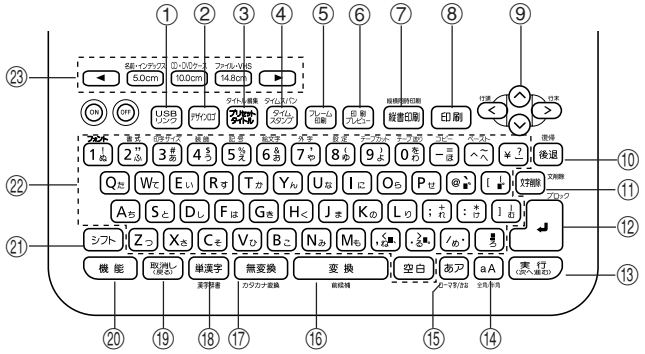


※もし、テープカートリッジが取り出せない場合は、122ページの「こんなときは」を参照して取り出してください。

重要 当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収/分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

キーのはたらき

ここではキーの主な使い方について説明します。



- 電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴るブザー音を消したいときは、117ページをご覧ください。

①	USB リンク	パソコンで作成したデータを本機で印刷するときに押す。
②	デザインロゴ	デザインロゴを印刷するとき、パソコンからデザインロゴデータをインストールするときに押す。 「ラベル印刷」をしているときにを押すと、［デザインロゴ］モードに切り替わる。
③	タイトル編集 プリセットタイトル	よく使う登録した単語や文章を呼び出して使うときに押す。 よく使う単語や文章を登録、編集するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
④	タイムスパン タイムスタンプ	日付、時刻を入力中の文章に挿入するときに押す。 保存期間、有効期限などの将来の日付、時刻を入力中の文章に挿入するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤	フレーム印刷	フレーム印刷をするときに押す。 • フリーラベル以外では使用できません。
⑥	印刷プレビュー	印刷結果を画面で見るときに押す。
⑦	縦横同時印刷 縦書印刷	縦書き印刷をするときに押す。 • 縦横同時印刷をするときは、機能を押し指を離してからこのキーを押す。 • フリーラベル以外では使用できません。
⑧	印刷	印刷するときに押す。
⑨		• 文字が入る位置を示した_や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 • 項目などを選択するときに押す。
⑩	復帰 後退	• カーソルの前の文字を消すときに押す。 • 直前に削除した文字、改行マーク、書式などを復帰するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪	文字削除 文字削除	• カーソルの上の文字を消すときに押す。 • 入力中の項目の文章をすべて消すときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑫	ブロック	• 改行するときに押す。 • 文章をブロックに分けるときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。（36ページ）

⑬	実行	操作を進めるときに押します。
⑭	aA 全角/半角	• アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。（92ページ） • アルファベットの全角と半角を切り替えるときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑮	あア ローマ字/カナ	• ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。（85ページ） • ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑯	変換 前候補	• ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 • 1つ前の変換に戻るとき（前候補）は、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑰	無変換 カタカナ変換	• 漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 • 入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑱	単漢字 漢字辞書	1文字ずつ漢字に変換するときに押す。 •漢字辞書を使って漢字を入力するには、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。（89ページ）
⑲	取消し	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑳	機能	キーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
㉑	シフト	• かな入力のとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。（86ページ） • アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字（または小文字）を入れる場合に押す。（92ページ）
㉒	（文字キー）	文字を入れるときに押す。
㉓	（テープ長さキー）	フリーラベルで長さを設定するときに押す。 • フリーラベル以外では使用できません。

重要 機能とシフトの操作には、以下の2つの方法があります。

1. 機能（シフト）を押し、指を離してから目的のキーを押す。
2. 機能（シフト）を押しながら目的のキーを押す。

・本書の操作説明は、「機能（シフト）を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を1 ぬ！や実行などのように表記しています。

例 1 ぬ！を押したあとに続けて実行を押すときの表記

↓

1 ぬ！ 実行と押します。

●本機のキーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能（「設定」や「カタカナ変換」など）を使うには、機能を押し、指を離してから機能と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「設定」機能を使うときの表記

↓

機能を押し、指を離してから取 8 ゃを押します。

●操作手順の中で、「△▽◁▷を押して…」「△▽を押して…」「◁▷を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

●1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは取消しを押します。

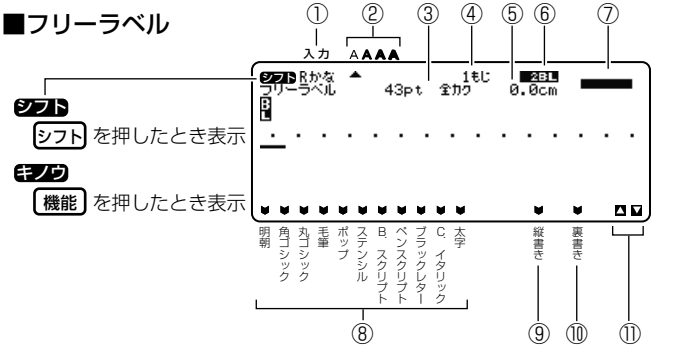
●取消しを何回押しても希望の画面に戻らないときは、OFF を押して一度電源を切ります。ON を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面の見方

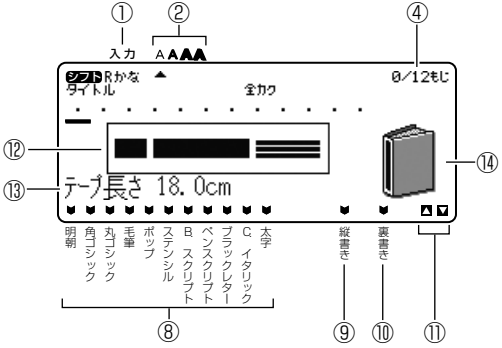
本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

• 画面の明るさを変えるときは、117ページをご覧ください。

■フリーラベル



■用途別ラベル



①	入力できる文字の種類を示す。（84ページ）
②	文字体が何になっているか示す。（102ページ）
③	カーソル上の文字の印字サイズと倍率を示す。（47ページ）
④	フリーラベルでは現在入力している文字数を示す。（25ページ） フリーラベル以外では現在入力している文字数と最大入力可能文字数を示す。（31ページ）
⑤	フリーラベルでのテープ長さを示す。（25ページ）
⑥	フリーラベルでカーソルがあるブロックは何個目かを示す。（37ページ）
⑦	フリーラベルでのレイアウトを示す。（38ページ）
⑧	書体（フォント）が何になっているかを示す。（99ページ）
⑨	縦書きになっていることを示す。（38ページ）
⑩	裏書きになっていることを示す。（40ページ）
⑪	いま見えている画面より上下にも文字などがあることを示す。
⑫	ラベルのレイアウトを示す。（31ページ）
⑬	フリーラベル以外でのテープ長さを示す。（31ページ）
⑭	作成中ラベルの貼付対象、または機能を示す。（31ページ）

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルを印刷する

[印刷例]

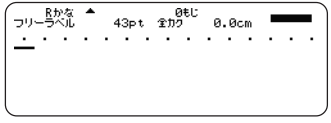
営業レポート

1 (ON) を押して、電源を入れます。

2 ◁▷を押して「新規作成」にし、[実行]を押します。

3 △▽◁▷を押して作りたいラベルの種類を選び、[実行]を押します。

ここでは「フリーラベル」を選びます。



4 文字を入力します。

ここでは「営業レポート」と入力します。

- 文字の入力方法については、28ページをご覧ください。

続いて、ラベルを印刷します。

5 [実行]を押します。

■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 [印刷/プレビュー]を押します。

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます

2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、[実行]を押します。

その部分が止まります

[実行]を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは[取消し]を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されない場合があります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

重要 印刷する前に、テープ出口（12ページ）が物などでふさがっていないことを確めてください。

- テープカートリッジがセットされていることを確認してください（20ページ）。

1 **印刷** **になっていることを確認して、** 実行 **を押します。**

2 ◁▷**を押して、印刷する枚数を指定します。**
ここでは「1枚」にします。

- ◁を押すと数字が減り、▷を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100枚まで指定できます。
  0枚を指定することはできません。

3 ▽**を押します。**

4 **カットモードを指定します。**

- ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- 布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- 反射テープ・マグネットテープ・アイロン布テープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。
カットモードについて詳しくは、69ページをご覧ください。

5 実行 **を押します。**
印刷が始まります。

- 印刷を途中でやめるときは、取消し を押します。

重要
- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。（テープカートリッジ収納部のカバー→12ページ）
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、取消し を押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

⚠ 注意

オートテープカッターに注意する

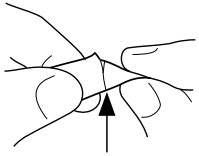
電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

ラベルを貼る

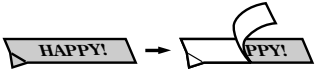
1 **必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。**

2 **ラベルの裏をはがして、貼ります。**

●ハーフカット部分からはがすとき
ハーフカット部分をゆっくりと
ひねるようにして、テープを台
紙からはがします。



●フルカットされたラベルをはがすとき
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。



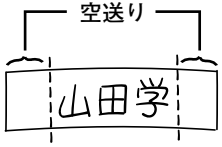
- 一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

重要 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
- 直射日光や雨があたるもの
- 人や動物のからだ
- 他人の家のへいや電柱など
- 公園・駅など、公共の場所
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは…
- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどがついているところ
- 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP材など）

テープを空送りする

印刷する前、した後に、テープを白紙で送ることができます（テープ送り）。



1 **機能 0（テープ送り／そう）と押します。**
↓
テープが約23mm送られます。

テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは（42ページ）、印刷が終わっても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープをカットしてください。

1 **機能 9（テープカット／よ）と押して、テープをカットします。**

重要 テープをカットするときは、本機を傾けないでください。
また、テープを引っぱったり、カバーを開けたりしないでください。

終了する

1 上の画面が表示されているときに〈〉を押して 終了 にし、実行 を2回押します。

- 「登録」については、73ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。(84ページ)

1. あア を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。
2. E い I に G き Y ん O ら U な
3. 変換 を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら 実行 を押します。

■「レポート」を入力します。

1. あア を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。
2. R す E い P せ O ら ¥ ? ー T が O ら

- 誤った文字を入力したときは、文字削除 (95ページ)や 後退 (95ページ)を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- **文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(83ページ)をご覧ください。**

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で行います。

ACアダプターの接続 15ページ

・購入後、はじめてお使いのときは、メモリーの初期化、日時の設定をしてください(17ページ)。メモリーの初期化をすると本機に記憶されたデータや日時設定が消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。

↓

テープカートリッジの取り付け 20ページ

↓

自由に入力して作る
フリーラベル
36ページ
フリーラベルの編集機能
36ページ

用途に応じて作る
用途別ラベル
バーコードラベルなど
30、55ページ

操作の流れ

1 ラベルの種類を選ぶ
フリーラベル 36ページ
用途別ラベル 30ページ
ナンバリング 32ページ
バーコード 55ページ
QRコード® 58ページ
拡大印刷 34ページ
POPラベル 63ページ
カレンダーラベル .. 64ページ
宛名ラベル 66ページ

登録してあるデータを呼び出して使うときは(73ページ)

前回作成したデータを使うときは(19ページ)

2 文字を入力する(83ページ)

3 文字を修飾する
書体(フォント)を変える(99ページ)、文字を目立たせる(文字体)(102ページ)

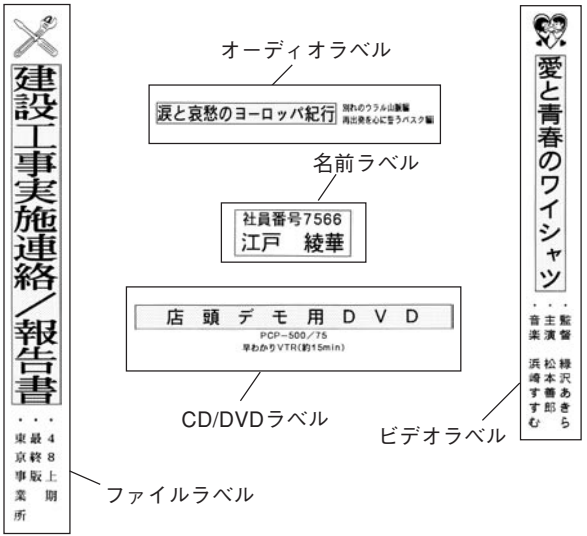
ラベルを印刷(25ページ)・登録(73ページ)・終了する

フォーマットを選んで作る(用途別ラベル)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

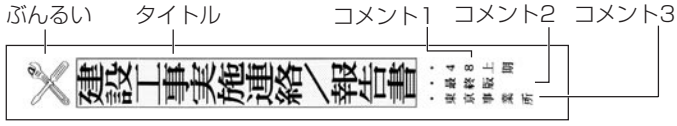
※ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル



• CD/DVDラベル・ビデオラベル·オーディオラベル·名前ラベル·ファイルラベルがあります。用途に応じて選択してください。

[印刷例]



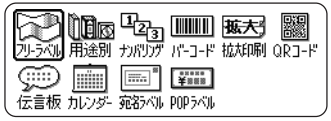
(18mm幅テープ/ファイル/ファイル背(薄)/大3)

重要 138ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

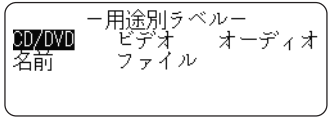
フォーマットを選ぶ

1 (ON) を押して、電源を入れます。

2 ◁▷を押して「新規作成」を選び、実行を押します。



3 △▽◁▷を押して「用途別」を選び、実行を押します。



4 △▽◁▷を押して作成するラベルの種類を選び、実行を押します。

ここでは「ファイル」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。

フォーマット選択画面の見方

ここでは、例として、「ファイル背(薄)」の画面を説明します。

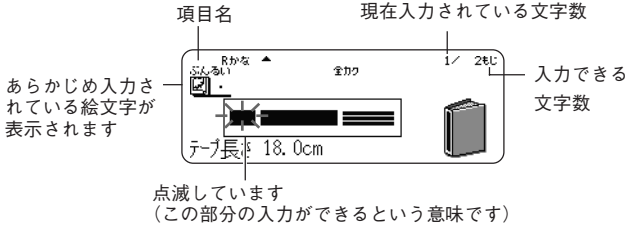
⑨⑱……使用できるテープ幅には、◯または◯が表示されます。
⑱……最も適したテープ幅には◯が表示されます。
6……使用できないテープ幅には×がつきます。

5 ◁▷を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、実行を押します。

ここでは「ファイル背(薄)」を選びます。

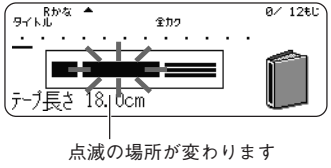
6 ◁▷を押してフォーマットを選び、実行を押します。

詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」(138ページ)をご覧ください。
ここでは「大3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、実行を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、94ページをご覧ください。



8 **文字を入力し、実行を押します。**

ここでは「タイトル」「コメント1」「コメント2」「コメント3」に入力します。

- 枠がつけられるフォーマットの場合は、機能を押し指を離してから 4 装飾 を押して「装飾」の「文字修飾」に入って、枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。

- ラベルデータを印刷するときは→25ページ
- ラベルデータを登録するときは→73ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に機能を押し、指を離してから 2 書式 を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

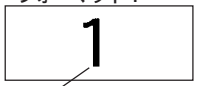
通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング)

ページ番号や通し番号がついたラベルを作る(連番印刷)ことができます。

重要 3.5mm幅のテープカートリッジは使用できません。

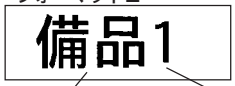
ナンバリングの種類

- フォーマット1



ナンバー

- フォーマット2



コメント(99文字まで)　ナンバー

- フォーマット3

ナンバー　コメント(99文字まで)

- フォーマット4

コメント1(99文字まで)　ナンバー　コメント2(99文字まで)

- フォーマット5

ナンバー　コメント(99文字まで)

- フォーマット6

ナンバー　コメント(99文字まで)

- 印刷するたびに、"ナンバー"が一つずつ繰り上がっていきます。

[印刷例]

備品No.15(総務管理)
備品No.16(総務管理)
備品No.17(総務管理)

「備品No.15(総務管理)」～「備品No.17(総務管理)」のラベルを印刷します。

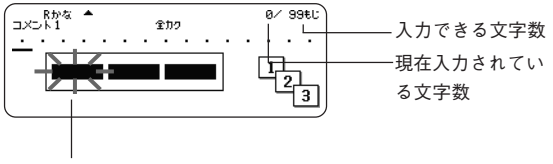
重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、取消しを押して印刷を中止してください。

1 **ON を押して、電源を入れます。**

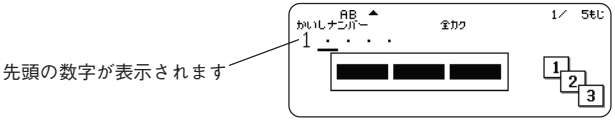
2 **◇◇を押して「新規作成」を選び、実行を押します。**

3 **△▽◇◇を押して「ナンバリング」を選び、実行を押します。**

4 **◇◇を押してフォーマットを選び、実行を押します。**
ここでは「4」を選びます。



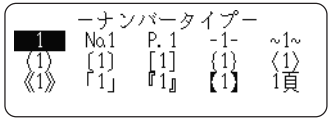
5 **「コメント1」の文字を入力し、実行を押します。**
ここでは「備品」と入力します。



6 **ナンバリングの先頭になる数字に変更し、実行を押します。**
ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

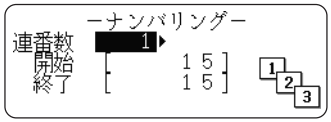
- 先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5桁まで入力できます。

7 **「コメント2」の文字を入力し、実行を押します。**
ここでは「(総務管理)」と入力します。



8 **△▽◇◇を押してナンバリングの形を選び、実行を押します。**
ここでは「No.1」を選びます。

9 **◇◇で印刷を選び、実行を押します。**



10 数字キー(または〈〉)を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから[実行]を押します。

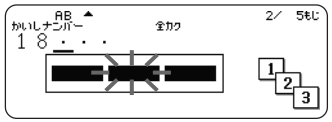
ここでは、15、16、17番を印刷するので、「3」を設定します。

• 1〜100までを入力できます。

11 〈〉を押してカットモードを設定し、[実行]を押します。

• カットモードについて詳しくは、69ページをご覧ください。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

• ナンバー「99999」の次は、「00000」が印刷されます。

• 「長さオーバー　印刷できません」「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？」と表示されたときは、122ページをご覧ください。

重要 • テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

• ラベルデータを登録するときは→73ページ

印刷の書式を設定したい

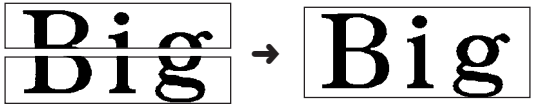
文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

• 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
• 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
• 「余白」の設定をする

上記の設定をするには、文字入力中に[機能]を押し、指を離してから[書式 2 ABC]を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

大きなラベルを作る(拡大印刷)

本機では、46mm幅のテープまで使用できますが、それよりも大きなラベル(最大184mm幅)も作ることができます。文字を何枚かのテープに分けて印刷し、それを並べて貼って、1枚のラベルにします。



文字を2枚のテープに分けて印刷

2枚を並べて貼ると、1枚のラベルが完成

重要 36mm幅以上のテープカートリッジをセットしてください。

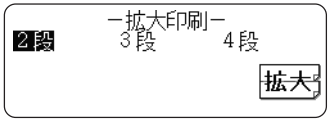
[印刷例]　Big　(36mm幅テープ/2段)

1 [ON]を押して、電源を入れます。

2 〈〉を押して「新規作成」を選び、[実行]を押します。

3 ∧∨〈〉を押して「拡大印刷」を選び、[実行]を押します。

4 文字を入力し、実行を押します。

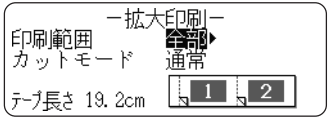


5 ◁▷を押して拡大する文字の大きさを設定し、実行を押します。

2段とは、「2枚のテープに分けて印刷する」という意味です。
ここでは「2段」を選びます。

	文字の大きさ		
テープ幅	2段	3段	4段
36mm	72mm	108mm	144mm
46mm	90mm	135mm	180mm

6 ◁▷で印刷を選び、実行を押します。



7 ◁▷を押して何段目を印刷するかを設定し、▽を押します。

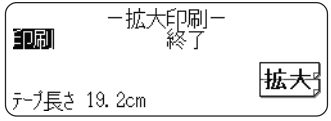
ここでは「全部」を選びます。

8 ◁▷を押してカットモードを設定し、実行を押します。

印刷が始まります。

- カットモードについて(69ページ)
- 文字数の多い大きなラベルを印刷する場合、１本のテープですべての段を印刷できない場合があります。テープの残量を確認しながら１段ずつ印刷することをおすすめします。印刷の途中でテープが終了した場合は、取消しを押して印刷を終了し、テープを交換した後、再度、印刷操作をしてください。
- 黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため“印刷準備中”の表示になって、印刷を一時停止することがあります。
  プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。
- “印刷準備中”の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。

2段目の印刷が終わったら、この画面になります。



テープを2段並べて貼ります

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に機能を押し、指を離してから2を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

自由に入力して作る(フリーラベル)

ここでは自由に入力してラベルを作る(フリーラベル)方法について説明します。

フリーラベルを作る

操作を簡単に説明すると、以下のようになります。

1. (ON)を押して、電源を入れます。
2. ◁▷を押して「新規作成」にし、[実行]を押します。
3. △▽◁▷を押して「フリーラベル」を選び、[実行]を押します。
4. 自由に文字を入力します。

- フリーラベルの作り方について詳しくは25ページをご覧ください。

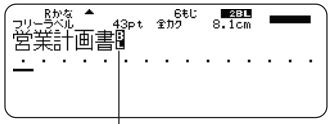
文章をブロックに分ける

下の印字例の「営業計画書」「国内営業部　営業第三課」は、それぞれ独立したかたまりです。このかたまりを**ブロック**といいます。ブロックごとに書式や行数を設定することができますので、いろいろなラベルを自由に作ることができます。

[印刷例]　「営業計画書」「国内営業部　営業第三課」を別々のブロックに分ける

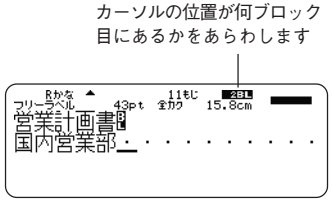
1　最初のブロックの文字を入力します。
ここでは「営業計画書」と入力します。

2　[機能]を押し、指を離してから[↵]を押します。
「営業計画書」が1つのブロックになります。



ブロックマーク
(画面だけの印なので印刷されません)

3 次のブロックの文字を入力します。
ここでは「国内営業部」と入力します。



- ブロックマークを消すときは、「B」の位置にカーソルを合わせ、文字削除を押します。
  ※後退を押してもBマークを削除することはできません。
- ブロックに分けることができるのは、16個までです。

4 続けて文字を入力します。
ここでは「↵営業第三課」と入力します。
- 2行のラベルについては37ページをご覧ください。
- 縦書きの設定については38ページをご覧ください。

- ラベルデータを印刷するときは→25ページ
- ラベルデータを登録するときは→73ページ

文章を完成させたあとでブロックに分けるには
文字を入力したあとで、ブロックに分けることもできます。分けたい位置にカーソルを移動させ、機能を押し、指を離してから↵を押します。

2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。

テープの幅	最大行数
3.5mm	1行
6mm	2行
9mm	3行
12mm	5行

テープの幅	最大行数
18mm	8行
24mm	10行
36mm	10行
46mm	10行

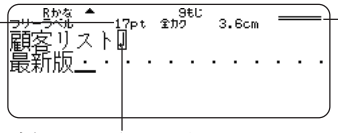
- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。（ジャストフィット印刷）
- 文字の大きさを自由に決めた場合（47ページ）も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例] 顧客リスト
最新版

1 1行目を入力します。
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2 ↵を押します。

3 **2行目を入力します。**
ここでは「最新版」と入力します。



文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。

改行マークが入ります
（画面だけの印なので印刷されません）

作っているラベルのレイアウト（イメージャー表示）
線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージであらわします。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、[↵]を押します。
- 改行を取り消すときは、[文字削除]を押してマークを削除します。
  ※[後退]を押しても「↵」マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、行数やサイズの設定によっては「5/8」というような表示になります。これは、「行数は8行で、カーソルが合っているのは5行目」という意味です。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→25ページ
- ラベルデータを登録するときは→73ページ

こんなラベルを作るには？

［印刷例］ ジャストフィット印刷（47ページ）

顧客リスト
最新版 営業部

顧客リスト最新版
営業部

［画面例］

顧客リスト↵
最新版B
営業部

ブロックマークを入れます
（36ページ）

顧客リスト最新版↵
営業部

文字の大きさを行ごとに決めます
（50ページ）

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール（書式）で作るのかを決めます。
ブロックごとの書式を決めることもラベル全体の書式を決めることもできます。

ブロックごとに書式を決める

ブロック（36ページ）ごとに、印刷方向や文字のバランスなどを設定します。

■設定できる内容

ブロック書式では、次のような設定ができます。

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 方向　方向
文字割付	ブロック中での文字のバランスを決めます。➜45ページ参照
文字ピッチ	文字と文字のピッチ（間隔）を決めます。 文字ピッチ　文 字 ピ ッ チ
ブロック長	ブロックの長さを決めます。➜39ページ参照

■設定する

1 **文章を入力し、ブロックに分けます。**

2 **書式を決めるブロックにカーソルを合わせます。**
そのブロック内であれば、カーソルの位置はどこでも構いません。

3 機能を押し、指を離してから 書式 2 を押します。
ブロックが1つだけの場合には手順**6**に進んでください。このときは、ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

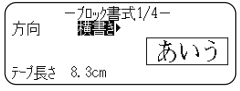
4 ◁▷を押して**ブロック書式**を選び、実行を押します。

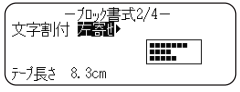
5 ◁▷を押して**このブロックのみ**を選び、実行を押します。

- すべてのブロックを共通の書式にするときは◁▷を押して**全ブロック**にします。

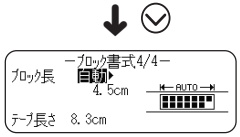
6 各項目を設定します。

- △▽を押して設定項目を選びます。
- ◁▷を押して希望の項目を表示させます。





設定項目	内　容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	ブロックの中での文字のバランス(左寄せ/均等/中寄せ/右寄せ)を設定する➜45ページ参照
文字ピッチ	文字と文字の間隔(8/8～12/8、16/8、24/8文字)を指定する(7段階) (◁▷を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる) ※「文字割付」を「均等」、「ブロック長」を「固定」とした場合は、文字間隔の指定はできません。
ブロック長	• 自動:文字数に合わせて自動的にブロックの長さを調整する • ブロックの長さを任意に設定するときは◁▷を押して「固定」を選ぶ ➜42ページ参照



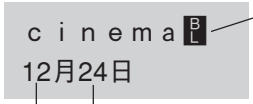
7 各項目を設定したら、実行を押します。

こんなラベルを作るには…

［印刷例］

cinema 12月24日

［画面例］



記号の入力について詳しくは、93ページをご覧ください。

①「12月24日」のブロックにカーソルを合わせる。

② 機能を押し、指を離してから 書式 2 を押して、「ブロック書式」➜「このブロックのみ」➜「縦書き」とする。

↓

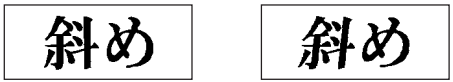
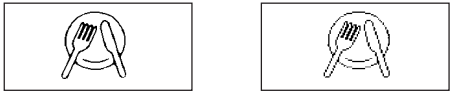
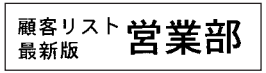
印刷する

文章全体の書式を決める

文章全体の書式を決めます。
ブロックで区切られた文章であっても、ブロックには関係なく文章全体が対象になります。

■設定できる内容

文章全体の書式では、次のような設定ができます。

裏書き	 • 布転写テープカートリッジ(別売)を使用してハンカチやTシャツなどにアイロンプリントするときに設定します。 • アイロン布テープ(別売)を使用してアイロンプリントするときには、裏書きの設定は必要ありません。 • テープ色が透明なテープカートリッジ(別売)を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。
斜め	文字を斜めに印刷するときに選びます。 しない　する 
プロポーショナル	プロポーショナルとはアルファベット・数字に適した文字間隔のことです。アルファベット・数字が入った文章のときは「プロポーショナルON」にすると、より美しく仕上がります。 ON　OFF
スムージング	外字の印字の不自然なギザギザを美しく滑らかにする(ON)かしない(OFF)かを選びます。 ON　OFF 
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選びます。 密着 普通  広い
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選びます。 ➜42ページ参照
テープ長	ラベル全体の長さを自由に決めます。 ➜41ページ参照
ブロック割付	ラベル全体におけるブロックのバランスを決めます。 ➜46ページ参照

■設定する

1 **文字を入力します。**

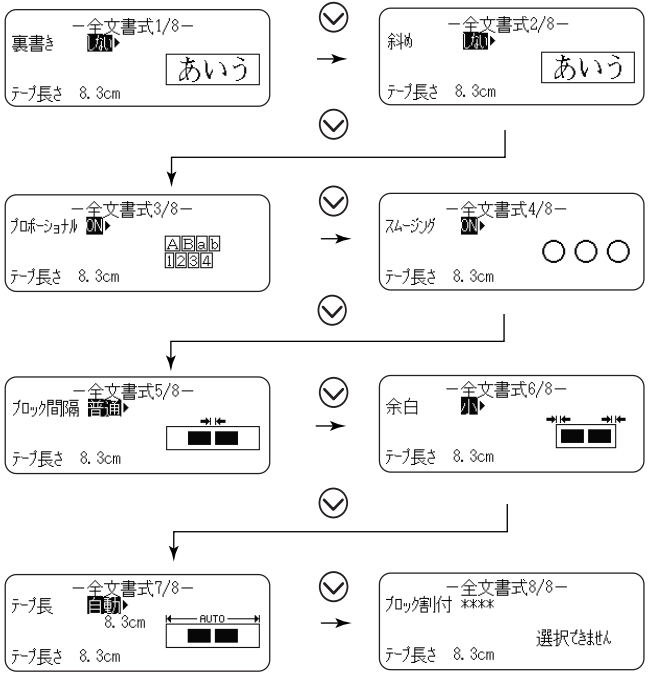
2 **機能を押し、指を離してから 2 を押します。**
ブロックが1つだけの場合には手順**4**に進んでください。ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

3 ▲▼を押して**全文書式**を選び、実行を押します。

4 各項目を設定します。

- ▲▼を押して設定項目を選びます。
- ◀▶を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内　容
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ
斜め	文字を斜めに印刷するときは「する」を、斜めに印刷しないときは「しない」を選ぶ
プロポーショナル	ON：アルファベット・数字に適した文字ピッチに調整する OFF：アルファベット・数字の文字ピッチが、かな・漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる
スムージング	外字の文字のラインを滑らかにするか、しないかを選ぶ
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選ぶ（普通/広い/密着）
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選ぶ （小/送り無/大/中）
テープ長	•自動： 文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する •ラベル全体の長さを任意に設定するときは、◀▶を押して「固定」を選ぶ➜44ページ
ブロック割付	ラベル全体に対するブロックの位置を選ぶ➜46ページ ※テープ長さを「固定」にしたときのみ有効 （左寄せ/均等/中寄せ/右寄せ）



5 各項目を設定したら、実行を押します。

余白について

ラベルの前後につくスペースを**余白**といいます。
次の3種類の余白を選べます。

余白小

余白中

余白大

重要

テープの長さが短い(余白小のとき:約30mm、余白中のとき:約37mm、余白大のとき:47mm)場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。

送り無

- 「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- 「送り無」と設定したときは、テープは自動的にはカットされません。テープをカットするときは、機能 を押し、指を離してから 9よ(テープカット) を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の3つがあります。

- ブロックごとの長さを決めて、ラベルの長さを設定する(ブロック長固定)。
- ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定)。
- VHS・CD・DVD用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する(テープ長さキー)。

ブロックの長さを設定する(ブロック長固定)

ブロック(38ページ)の長さを決めることにより、ラベル全体の長さを決めることができます。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ブロックの分けかた(36ページ)

2 長さを決めるブロックにカーソルを移動します。
そのブロック内であればカーソルの位置はどこでも構いません。

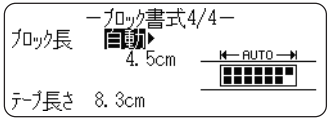
3 機能 を押し、指を離してから 2ふ(書式) を押します。
ブロックが1つだけの場合には、手順**6**に進んでください。

4 ◁▷を押して「ブロック書式」を選び、 実行 を押します。

5 ◁▷を押して**このブロックのみ**を選び、実行を押します。

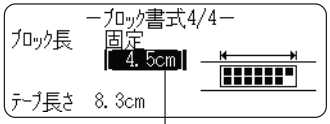
• すべてのブロックを共通の書式にするときは△▽を押して全ブロックにします。

6 △▽を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。



7 ◁▷を押して、「ブロック長　固定」にします。

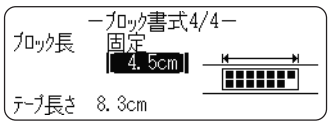
8 ▽を押します。



数値が反転します

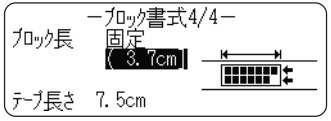
9 数値キー、または◁(減)・▷(増)を押して、ブロックの長さを設定します。

• ブロックの長さと入力されている文字により、次のようになります。



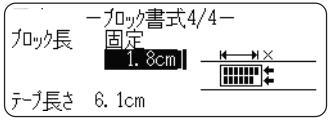
[4.5cm]
指定通りに印刷

営業部



(3.7cm]
文字を横方向に縮めて指定通りに印刷

営業部



1.8cm]
指定した長さより長く印刷

営業部

10 実行を押します。

イメージャー表示について

「ブロック長　固定」を選ぶと、画面右上のイメージャー表示は次のようになります。

指定通りの長さで印刷できる	指定通りの長さで印刷されるが、文字は横方向に縮まる	指定の長さより長く印刷される*
[■■■■]	(■■■■]	■■■■]

* 文字が印刷方向に50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定)

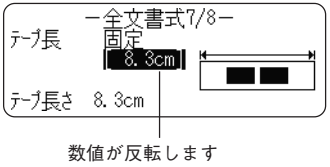
1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから 書式 2ふ を押します。
ブロックが1つだけの場合には、手順**4**に進んでください。

3 ◁▷を押して**全文書式**を選び、実行を押します。

4 △▽を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

5 ◁▷を押して、「テープ長　固定」にし▽を押します。



6 数値キーまたは◁(減)・▷(増)を押して、ラベルの長さを設定し、実行を押します。
- 入力されている文字に合わない長さにすると、「テープ長固定エラー」となり、次のような表示になります。

[9.5cm]　　8.2cm]
↑　　↑
指定通りに印刷　　指定したテープ長より長くなって印刷

VHS・CD・DVD用のラベルなどを簡単に設定する(テープ長さキー)

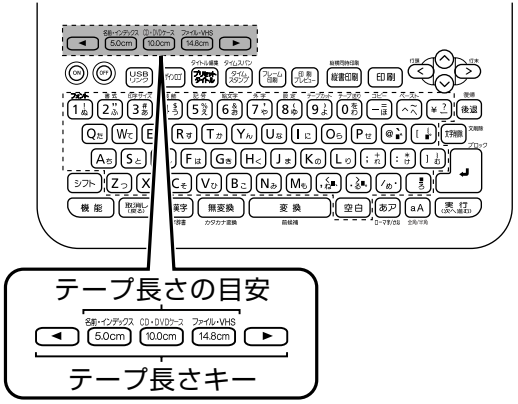
テープ長さキーを使えば、VHSビデオテープやCD、DVD用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます(ダイレクト設定)。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

重要
- **ブロックを使っているときは、ラベルの長さの設定は、書式の「テープ長」「ブロック長」で行ってください。テープ長さキーで設定すると、設定した値よりも長くなることがあります。**
- **テープ長さキーで設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、テープ長さキーで設定すると、「ブロック長：固定」「文字割付：均等」「BL割付：均等」に設定されます(ブロック長が固定されるのは、ブロックが1つのときだけです)。**
- **フリーラベル以外では、テープ長さキーは無効となります。**
- **使用するテープカートリッジの幅や種類によって、テープ長さに誤差が生じる場合があります。**

設定できる長さ

テープ長さキー	適したもの
14.8cm	VHSビデオテープの背ラベル・ペーパーファイル・バインダーなど
10.0cm	CDケース、DVDケースなど
5.0cm	名前シール・インデックスなど

※1mm単位で長さを調整することもできます。



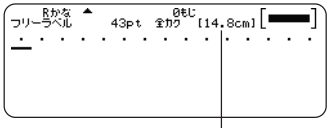
設定する

[例]　VHSビデオテープ用のラベルの長さを設定する

1 **14.8cm を押します。**

▶を押すと長くなり、◀を押すと短くなります。

- 文字入力はラベルの長さを設定する前でも設定した後でもかまいません。



長さが14.8cmに変わります。

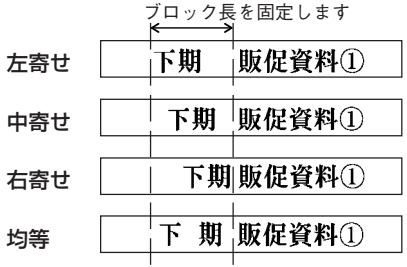
文章のバランスを整える(割付)

文字や文章のバランスを整えることができます。

ブロック内で文字のバランスを整える

ブロック内での文字のバランスを選ぶことができます。

[例]　「下期」のバランスを整えます。



1 **文字を入力し、ブロックに分けます。**

- ブロックの分けかた(36ページ)

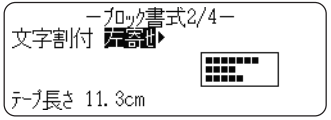
2 **割付の対象になるブロックにカーソルを合わせ、機能を押し、指を離してから書式(2)を押します。**

ここでは「下期」にカーソルを合わせます。
ブロックが1つだけの場合には、手順**5**に進んでください。

3 **◀▶を押して「ブロック書式」を選び、実行を押します。**

4 **◀▶を押して「このブロックのみ」を選び、実行を押します。**

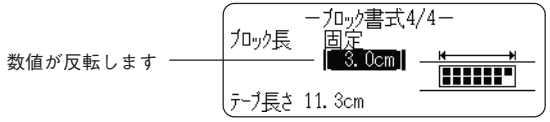
5 ㊤㊦を押して「文字割付」の設定画面にします。



6 ㊧㊨を押して、割付の種類を表示させます。
㊧㊨を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。

7 ㊤㊦を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。

8 ㊧㊨を押して「ブロック長　**固定**」にし、㊦を押します。



9 数値キー、または㊧(減)・㊨(増)を押して、元のブロック長より長い数値にし、実行を押します。

2行以上の文章のときは、「ブロック長　自動」を選んでも、割付することができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①	下　期 販促資料①

ラベル内のブロックのバランスを整える

ラベル全体に対しての、ブロックのバランスを選びます。

左寄せ	開発部 食品課 江藤まこと
均等	開発部 食品課　江藤まこと
中寄せ	開発部 食品課 江藤まこと
右寄せ	開発部 食品課 江藤まこと

重要 ブロックの割付は、「テープ長　固定」と設定されているときのみ有効です。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

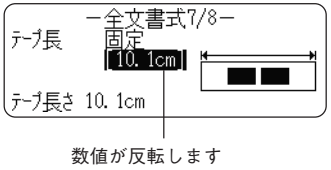
- ブロックの分けかた(36ページ)

2 機能を押し、指を離してから2を押します。
ブロックが1つだけの場合には、手順**4**に進みます。

3 ㊧㊨を押して**全文書式**を選び、実行を押します。

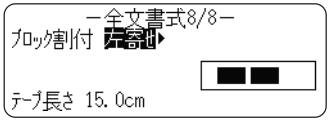
4 ▲▼を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

5 ◀▶を押して、「テープ長　固定」にし、▼を押します。



6 数値キー、または◀(減)・▶(増)を押して、希望の数字(ラベルの長さ)にします。
元の長さより長い数値にします。

7 ▼を押して、「BL割付」の設定画面にします。



8 ◀▶を押して、希望の割付の種類を表示させ、実行を押します。
◀▶を押すたびに、均等 中寄せ 右寄せ 左寄せ と割付の種類が変わります。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです(**ジャストフィット印刷**)。
ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

●文字の大きさは、次の2つの方法で決めることができます。
- **文字単位で大きさを決める**
- **行単位で大きさを決める**

重要 「34pt(12mm)」などの「mm」はおおよその大きさです。文字によってはこの大きさよりも小さくなることがありますのでご注意ください。

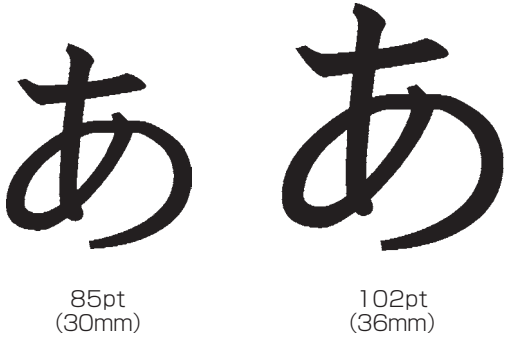
文字単位で大きさを決める

「ポイント」と「倍率」を変更することができます。

① **ポイント**

15段階で指定できます。

あ 6pt (2mm)　あ 9pt (3mm)　あ 12pt (4mm)
あ 14pt (5mm)　あ 17pt (6mm)　あ 20pt (7mm)
あ 26pt (9mm)　あ 34pt (12mm)　あ 43pt (15mm)



② 倍率

①と②は、重ねて指定できます。

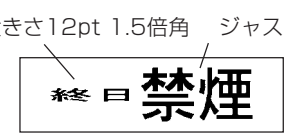
重要

・「下付」「上付」「半角」は、ひらがな・カタカナ・アルファベット・数字・記号の一部のみが対象になります。
・「拡大印刷」では、上付、下付には変更できません。

上付 議事録※1

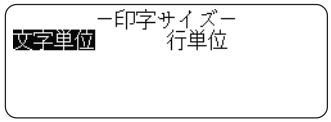
下付 167センチ

［例］ 「終日禁煙」の「終日」を12pt、1.5倍にする



1 文字を入力します。

2 機能 を押し、指を離してから 3(印字サイズ) を押します。
「ポイント変更できません」と表示されたときは、5へ進みます。



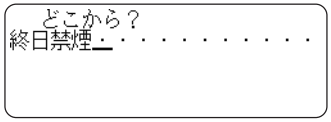
3 ◁▷を押して**文字単位**を選び、実行 を押します。

4 ◁▷を押して変更したいポイントを選び、▽を押します。
ここでは「12pt(4mm)」を選択します。
変更しない場合は、「変更しない」を選択するか、何も選択せずに ↵ を押します。

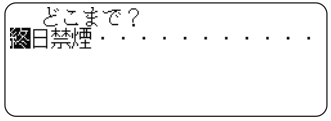
- **変更の必要がない項目では、そのまま ↵ を押すと、「変更しない」に設定されます。**
  この場合、サイズマークは表示されません。
- **文字サイズを小さくすると、文字によっては読みにくくなることがあります。**

5 ◁▷を押して変更したい倍率を選び、実行 を押します。
ここでは「□1.5倍」を選択します。

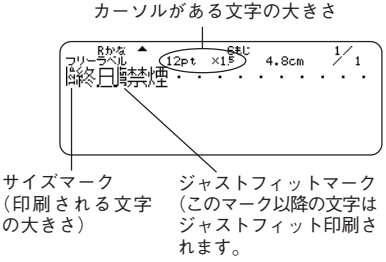
- **変更の必要がない項目では、そのまま ↵ を押すと、「変更しない」に設定されます。**



6 ◁▷を押して大きさを変える最初の文字にカーソルを合わせ、実行 を押します。
ここでは「終」を指定します。



7 ◁▷を押して大きさを変える最後の文字を選び、実行 を押します。
ここでは **終日** にします。



ポイントの指定を取り消すには

△▽◁▷を押して、取り消したいサイズマークにカーソルを合わせて[文字削除]を押します。

倍率の指定を取り消すには

手順**5**で、◁▷を押して ■全角 を選び、[実行]を押します。

サイズマーク・ジャストフィットマークについて

画面だけに表示され、印刷されません。

縦書きと横書きでは印刷結果が異なることがあります

例えば、倍角の場合、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます。

「行単位で大きさを決める」が指定されている場合には

さらに「文字単位で大きさを決める」の倍率のみを変更することができます。この場合、ポイントを「変更しない」に設定してください。

フリーラベル以外でも倍率を変更できます

- 変更できる機能
  用途別、ナンバリング、バーコード(コメントのみ)、QRコード®(コメントのみ)、POP、拡大、宛名(郵便番号以外)
- 変更できるサイズ
  倍率(全角、3/4倍角、半角、上付、下付)のみ
  ※「拡大」では、上付、下付には変更できません。
  ※「宛名」では、3/4倍角には変更できません。
  ※ポイントは変更できません。

行単位で大きさを決める(フォーマット選択)

行単位で文字サイズを設定するときは、下のフォーマットから選びます。

- 文章の行数とセットされているテープカートリッジの幅によっては、異なるフォーマットを選んでも印刷結果が同じになることがあります。

行数	フォーマット	46mm幅	36mm幅	24mm幅	18mm幅	12mm幅	9mm幅
1行	A	17pt	14pt	9pt	9pt	9pt	9pt
	B	34pt	26pt	17pt	17pt	17pt	17pt
	C	51pt	34pt	26pt	26pt	26pt	17pt
	D	68pt	51pt	34pt	34pt	26pt	17pt
	E	85pt	59pt	43pt	43pt	26pt	17pt
	F	102pt	68pt	51pt	43pt	26pt	17pt
	G	119pt	85pt	59pt	43pt	26pt	17pt
2行	A	43pt 43pt	34pt 34pt	20pt 20pt	17pt 17pt	12pt 12pt	6pt 6pt
	B	26pt 26pt	17pt 17pt	9pt 9pt	9pt 9pt	9pt 9pt	6pt 6pt
	C	17pt 34pt	14pt 26pt	9pt 17pt	9pt 17pt	9pt 12pt	6pt 12pt
	D	34pt 17pt	26pt 14pt	17pt 9pt	17pt 9pt	12pt 9pt	12pt 6pt
	E	26pt 43pt	17pt 34pt	14pt 20pt	14pt 20pt	9pt 14pt	6pt 12pt
	F	43pt 26pt	34pt 17pt	20pt 14pt	20pt 14pt	14pt 9pt	12pt 6pt
	G	34pt 51pt	26pt 43pt	17pt 26pt	14pt 20pt	9pt 14pt	6pt 12pt
	H	51pt 34pt	43pt 26pt	26pt 17pt	20pt 14pt	14pt 9pt	12pt 6pt

行数	フォーマット	46mm幅	36mm幅	24mm幅	18mm幅	12mm幅	9mm幅
3行	A	26pt	20pt	14pt	12pt	6pt	6pt
		26pt	20pt	14pt	12pt	6pt	6pt
		26pt	20pt	14pt	12pt	6pt	6pt
	B	17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	6pt
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	6pt
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	6pt
	C	17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	6pt
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	6pt
		34pt	26pt	17pt	17pt	12pt	6pt
	D	17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	6pt
		34pt	26pt	17pt	17pt	12pt	6pt
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	6pt
	E	34pt	26pt	17pt	17pt	12pt	6pt
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	6pt
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	6pt
	F	17pt	17pt	9pt	9pt	6pt	6pt
		34pt	26pt	17pt	14pt	9pt	6pt
		34pt	26pt	17pt	14pt	9pt	6pt
	G	34pt	26pt	17pt	14pt	9pt	6pt
		17pt	17pt	9pt	9pt	6pt	6pt
		34pt	26pt	17pt	14pt	9pt	6pt
	H	34pt	26pt	17pt	14pt	9pt	6pt
		34pt	26pt	17pt	14pt	9pt	6pt
		17pt	17pt	9pt	9pt	6pt	6pt
	I	20pt	17pt	12pt	9pt	6pt	6pt
		20pt	17pt	12pt	9pt	6pt	6pt
		43pt	34pt	20pt	17pt	14pt	6pt
	J	20pt	17pt	12pt	9pt	6pt	6pt
		43pt	34pt	20pt	17pt	14pt	6pt
		20pt	17pt	12pt	9pt	6pt	6pt
	K	43pt	34pt	20pt	17pt	14pt	6pt
		20pt	17pt	12pt	9pt	6pt	6pt
		20pt	17pt	12pt	9pt	6pt	6pt

行数	フォーマット	46mm幅	36mm幅	24mm幅	18mm幅	12mm幅	9mm幅
4行	A	20pt	17pt	12pt	9pt	6pt	–
		20pt	17pt	12pt	9pt	6pt	
		20pt	17pt	12pt	9pt	6pt	
		20pt	17pt	12pt	9pt	6pt	
	B	17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	
		34pt	26pt	17pt	9pt	9pt	
	C	17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	
		34pt	26pt	17pt	9pt	9pt	
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	
	D	17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	
		34pt	26pt	17pt	9pt	9pt	
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	
	E	34pt	26pt	17pt	9pt	9pt	
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	
		17pt	14pt	9pt	9pt	6pt	

※フレーム印刷時は、小さくなります。

重要

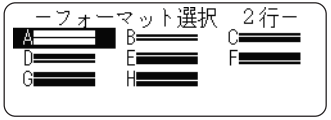
- 表にないテープ幅や行数のときは行単位で大きさを決めることはできません。
- 文字単位で印字サイズを設定した後では、行単位で設定できません。

[例] 営業2課 / 西東京地区　1行目：1.7倍(14pt)　2行目：2.3倍(20pt)　(2行・フォーマットE　18mm幅テープ)

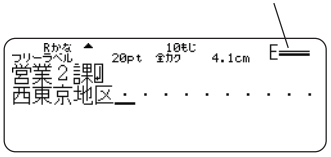
1 文字を入力します。

2 機能 を押し、指を離してから 印字サイズ 3 を押します。

3 ◇◇を押して**行単位**を選び、実行 を押します。



4 ◇◇◇◇を押してフォーマットを選び、実行 を押します。



次の場合、行単位の文字サイズの設定は解除されます。
- 行数を変更したとき
- 文字単位で文字の大きさを指定したとき(47ページ)

小さな文字について

6ptの文字、9ptおよび12ptの上付/下付の文字では、次のようになります。
- フォントの設定は、無効です(すべて同じフォントで印刷されます)。
- 文字体の設定は、無効です(「標準」になります)。
- プロポーショナルの設定は、無効です(OFFになります)。
- 文字修飾では、枠や下線が文字と重なります。
- 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームをつける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームをつけることができます。
フレームの一覧は137ページをご覧ください。

重要 3.5mm幅テープにフレームをつけることはできません。

[印刷例]

（18mm幅テープ／フレーム番号＝52）

1 文字を入力します。

2 フレーム印刷を押します。

3 ▲▼◀▶を押して使うフレームを選び、実行を押します。
ここでは[■]を選びます。

4 ◀▶で 印刷 を選び、実行を押します。

5 数字キー（または◀▶）を押して印刷枚数を設定し▼を押します。
1～100枚まで設定できます。

6 ◀▶を押してカットモードを設定し実行を押します。
印刷が開始されます。
- カットモードについて（69ページ）
- 書式で「斜め　する」と設定してあっても、フレームつき印刷では標準で印刷されます。
- 「文字修飾」の「枠付」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

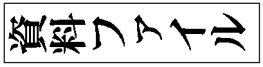
テープ幅	フレーム印刷できる行数
3.5mm	—
6mm	1行以内
9mm	2行以内
12mm	4行以内

テープ幅	フレーム印刷できる行数
18mm	6行以内
24mm	8行以内
36mm	10行以内
46mm	10行以内

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（73ページの最初の画面）表示中に［縦書印刷］を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷



縦横同時印刷

縦書き（1枚目）、横書き（2枚目）がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、［縦書印刷］や［機能］［縦横同時印刷］［縦書印刷］は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、［機能］を押し、指を離してから［書式］［2 ゛ふ］を押して、書式設定画面を表示させ、印刷方向の「縦書き」を設定してください。

1 文字を入力します。

2 ［縦書印刷］を押します。

縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、［機能］を押し、指を離してから［縦横同時印刷］［縦書印刷］を押します。

3 数字キー（または〈〉）を押して印刷枚数を設定し、〈∨〉を押します。

1～100枚まで設定できます。

- ブロック書式（38ページ）で、縦書きと横書きを混在した文章を作成した場合は［縦書印刷］で印刷すると、すべて縦書きになります。

4 〈〉を押してカットモードを設定し、［実行］を押します。

印刷が開始されます。

- カットモードについて（69ページ）

重要 印刷するときは、69ページの注意事項をご覧ください。

■「平成20年9月」、「’08年9月」などのラベルの作り方

［印刷例］

- 「20」や「’08」などは、記号一覧（133ページ）の記号を使用すると、簡単に上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、93ページをご覧ください。
- 現在の日付や時刻を入力するタイムスタンプ機能や、有効期限などの将来の日付や時刻を入力するタイムスパン機能を使用した場合には、そのまま縦書きで印刷するだけで上の例のようなラベルを簡単に作ることができます。
- タイムスタンプ（107ページ）
- タイムスパン（108ページ）

バーコードラベルを作る

バーコードラベルを作ることができます。
また、レーザーバーコードを使って、レーザーバーコードシステムをコントロールできます。使用方法は、プレーヤーの取扱説明書などをご覧ください。

バーコードのタイプ

（1）EAN系
　　JAN-13（日本）/EAN-13（ヨーロッパ）
　　JAN-8（日本）/EAN-8（ヨーロッパ）
　　UPC-A（アメリカ）
　　UPC-E（アメリカ）
（2）ITF系
　　LB（レーザーバーコード）
　　ITF
（3）CODE39
（4）CODABAR(NW-7)

重要

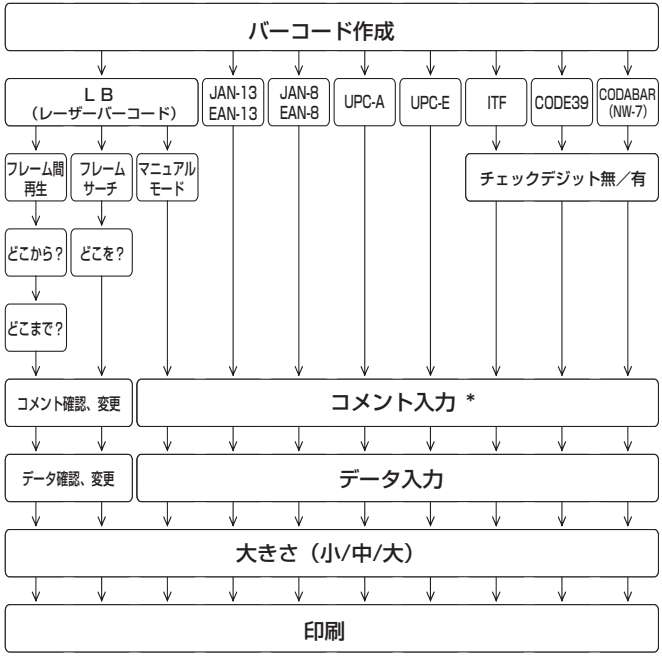
- 12mm幅以上のテープカートリッジを使用してください。
- バーコードの上部にコメントをつけることができます（60文字まで）。
- 印刷したバーコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
  　印刷濃度を薄くする（118ページ）
  　大きく印刷する（60ページの手順**9**で設定）
  　カットモードを「特殊テープ」または「カットしない」にする（69ページ）
- バーコードラベルに適したテープは、次のとおりです。
  - ● 白テープに黒文字（WE）
  - ● 白テープに青文字（WEB）
  - ● 黄色テープに黒文字（YW）

  ※（　）内はテープの型番です。

［印刷例］

（18mm幅のテープカートリッジを使用/LB/大きさ:中）

■バーコードラベル作成の流れ

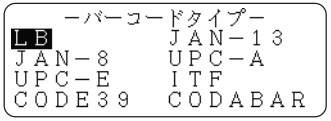


＊コメントを入力しないときは、そのまま 実行 を押して次に進んでください。

1 (ON) を押して、電源を入れます。

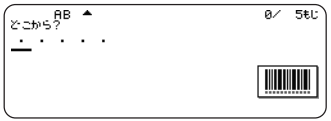
2 ◁▷を押して「新規作成」を選び、[実行]を押します。

3 △▽◁▷を押して「バーコード」を選び、[実行]を押します。



4 △▽◁▷を押してバーコードのタイプを選び、[実行]を押します。
ここでは「LB」を選びます。

5 △▽で**フレーム間再生**を選び、[実行]を押します。
- バーコードタイプをITF、CODE39、CODABARとしたときは、ここでチェックデジットの有無を選びます。

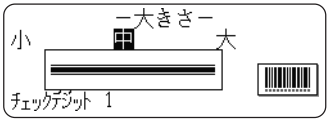


6 フレーム(始点)の5桁の数字を入力し、[実行]を押します。

- 手順**5**でフレームサーチを選んだときは、「**どこを？**」と表示されますので5桁の数字を入力します。そのあとは手順**8**に進みます。

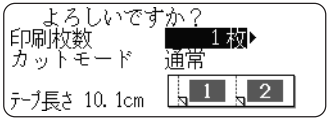
7 フレーム(終点)の5桁の数字を入力し、[実行]を押します。

8 [実行]を2回押します。



9 ◁▷を押してバーコードラベルの大きさを選び、[実行]を押します。
ここでは「中」を選びます。
- 大きくするほどテープの長さは長くなります。

10 ◁▷を押して**印刷**を選び、[実行]を押します。



11 数字キー(または◁▷)を押して印刷枚数を設定し、▽を押します。
1～100枚まで設定できます。

12 ◁▷を押してカットモードを設定し、[実行]を押します。
印刷が開始されます。

- カットモードについて(69ページ)
- ラベルデータを登録するときは(73ページ)

バーコードの仕様

バーコード		チェックデジット※1	印刷される桁数※3	入力する桁数※4	自動的につく桁数		入力文字種※11
						チェックデジット※1	
LB	フレーム間再生	有	14桁	5桁×2「どこから?」「どこまで?」	3桁※8	1桁	数字0〜9
	フレームサーチ	有	10桁	5桁「どこを?」	4桁※9	1桁	
	マニュアルモード	有	4〜20桁	3〜19桁奇数のみ※5	—	1桁	
JAN-13 EAN-13		有	13桁	12桁	—	1桁	数字0〜9
JAN-8 EAN-8		有	8桁	7桁	—	1桁	数字0〜9
UPC-A		有	12桁	11桁	—	1桁	数字0〜9
UPC-E		(有)※2	6桁	6桁	—	—	数字0〜9
ITF		無	4〜22桁	4〜22桁偶数のみ※6	—	—	数字0〜9
		有	4〜22桁	3〜21桁奇数のみ※7	—	1桁	
CODE39		無	4〜22桁	2〜20桁	2桁※10	—	数字0〜9 アルファベット A〜Z 記号「−」「.」「空白」「$」「/」「+」「%」
		有	4〜22桁	1〜19桁	2桁※10	1桁	
CODABAR (NW-7)		無	4〜22桁	4〜22桁	—	—	数字0〜9 記号「−」「$」「:」「/」「.」「+」 アルファベット(先頭、末尾のみ)※12 A〜D
		有	4〜22桁	3〜21桁	—	1桁	

※1　「チェックデジット」とは読み取り確認コードのことで、入力データより自動的に計算されます。LB・JAN/EAN-13・JAN/EAN-8・UPC-A・ITFの“有”においては、印刷される桁数の末尾に付きます。また、CODE39の“有”・CODABARの“有”においては、印刷される桁数の末尾の1桁前に付きます。

※2　UPC-Eのチェックデジットの表示はされますが、バーコード下に数字として印刷されることはありません。

※3　バーコード下に印刷される桁数は「入力する文字数＋自動的につく文字数」となります。

※4　この桁数に満たないときは、エラーメッセージが表示され、印刷ができません。また、この桁数以上の桁数を入力することもできません。

※5〜7 LB・ITFは印刷される桁数が偶数でなければならないので、以下のようになります。

※5　LBのマニュアルモードで、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。レーザーバーコードのフォーマットに従って、もう一度入力し直してください。

※6　ITFのチェックデジット“無”で、入力する桁数が奇数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。

※7　ITFのチェックデジット“有”で、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。

※8　LBのフレーム間再生では、1桁目“2”・12桁目“1”・13桁目“3”が自動的に付きます。

※9　LBのフレームサーチでは、1桁目“2”・2桁目“0”・8桁目“1”・9桁目“3”が自動的に付きます。

※10　CODE39では、スタートコード(先頭)“＊”・ストップコード(末尾)“＊”が固定されます。

※11　この文字種以外の文字が含まれて入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

※12　CODABARでは、スタートコード(先頭)・ストップコード(末尾)は、“A・B・C・D”のいずれかを使用します。また、先頭もしくは末尾に“A・B・C・D”以外の文字が入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

QRコード®ラベルを作る

QRコード®ラベルを作ることができます。
QRコード®とは、2次元コードの1種です。携帯電話に名前、電話番号、URLなどを読み取らせるなどの使い方があります。本機では株式会社NTTドコモの携帯電話（QRコード®に対応した機種）で読み取りや登録ができる形式でラベルに印刷されます。QRコード®の読み取りや登録については、お使いの携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

印刷できるQRコード®のタイプ

1 電話帳（NTTドコモ電話帳登録）

2 ブックマーク（NTTドコモブックマーク登録）

3 フリーテキスト

重要

- 18mm～46mm幅のテープカートリッジを使用してください。
- 本機で印刷するQRコード®はモデル2に対応しています。モデル1には対応しておりません。
- 本機で印刷するＱＲコード®は誤り訂正レベルがM（15%）となります。
- 印刷したQRコード®は、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
  印刷濃度を薄くする（118ページ）
- QRコード®ラベルに適したテープは、次のとおりです。
  ● 白テープに黒文字(WE)
  ● 白テープに青文字(WEB)
  ※ ( )内はテープの型番です。
- QRコード®を大量に連続印刷すると、正確に読み取れない場合があります。
- ラベルを縦書きにしても、QRコード®は回転しません。
- 電話帳のフリガナ項目でカタカナの濁音文字、半濁音文字は、QRコード®印刷時に清音と濁点、半濁点の2文字に変換されます。変換後の各サイズでのフリガナ項目の文字数までがQRコード®に印刷されます。
  例：「バ」 → 「ハ」「゛」
  「パ」 → 「ハ」「゜」
- 電話帳のフリガナ項目で「ワ、ヰ、ヱ、ヵ、ヶ」は、QRコード®印刷時に以下のように変換されます。
  「ワ」 → 「ワ」
  「ヰ」 → 「イ」
  「ヱ」 → 「エ」
  「ヵ」 → 「カ」
  「ヶ」 → 「ケ」
- 入力する文字列に「¥」「：」「；」「，」がある場合、携帯電話で読み取るときの制御文字の関係で、それぞれ以下のように2文字に変換されてQRコード®で印刷されます。
  ● 電話帳の「フリガナ」の項目
  「¥」 → 「¥￥」
  「：」 → 「¥：」
  「；」 → 「¥；」
  「，」 → 「¥，」
  ● 電話帳の「E-mail」の項目
  「¥」 → 「¥￥」
  「：」 → 「¥：」
  「；」 → 「¥；」
  ● ブックマークの「URL」の項目
  「¥」 → 「¥￥」
  「：」 → 「¥：」
  「；」 → 「¥；」

上記の制御文字の関係で「QRコード®印刷の詳細仕様」（59ページ）の入力可能文字数を下回る数の文字を入力しても、すべての文字がQRコード®で印刷されないことがあります。QRコード®で印刷された文字だけを携帯電話で読み取ることができます。

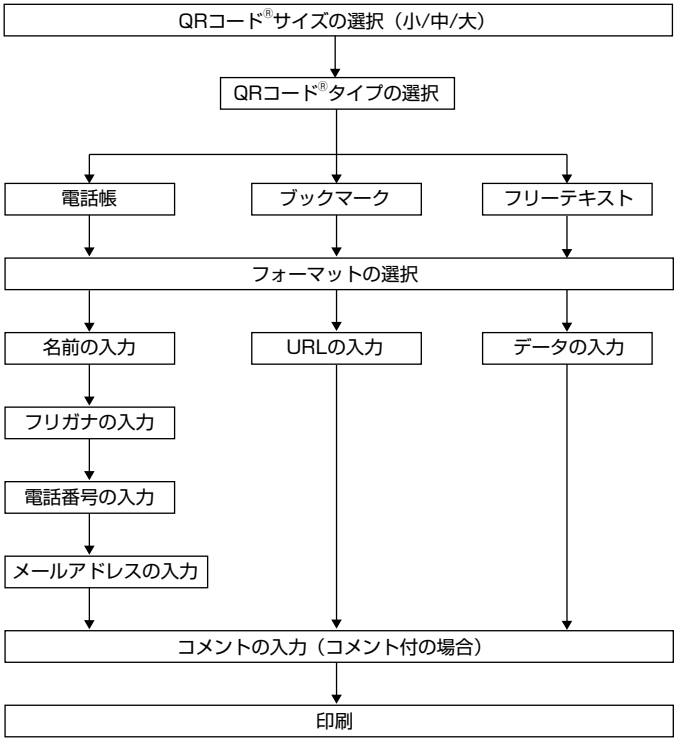
■QRコード®印刷の詳細仕様

サイズ	タイプ	フォーマット	文字印刷	入力項目	文字数
「小」	電話帳	1.QRコード®のみ	なし	名前	6
				フリガナ	4
				TEL	12
				E-mail	30
		2.データ付	4行	名前	6
				フリガナ	4
				TEL	12
				E-mail	30
		3.コメント付	1行	名前	6
				フリガナ	4
				TEL	12
				E-mail	30
				コメント	32
	ブックマーク	1.QRコード®のみ	なし	URL	74
		2.データ付	1行	URL	74
		3.コメント付	1行	URL	74
				コメント	32
	フリーテキスト	1.QRコード®のみ	なし	データ	52
		2.データ1行付	1行	データ	52
		3.データ2行付	2行	データ1	26
				データ2	26
		4.コメント1行付	1行	データ	52
				コメント	32
		5.コメント2行付	2行	データ	52
				コメント1	32
				コメント2	32

サイズ	タイプ	フォーマット	文字印刷	入力項目	文字数
「中」	電話帳	1.QRコード®のみ	なし	名前	20
				フリガナ	20
				TEL	20
				E-mail	55
		2.データ付	4行	名前	20
				フリガナ	20
				TEL	20
				E-mail	55
		3.コメント付	1行	名前	20
				フリガナ	20
				TEL	20
				E-mail	55
				コメント	32
	ブックマーク	1.QRコード®のみ	なし	URL	142
		2.データ付	1行	URL	142
		3.コメント付	1行	URL	142
				コメント	32
	フリーテキスト	1.QRコード®のみ	なし	データ	93
		2.データ1行付	1行	データ	93
		3.データ3行付	3行	データ1	31
				データ2	31
				データ3	31
		4.コメント1行付	1行	データ	93
				コメント	32
		5.コメント3行付	3行	データ	93
				コメント1	32
				コメント2	32
				コメント3	32

サイズ	タイプ	フォーマット	文字印刷	入力項目	文字数
「大」	電話帳	1.QRコード®のみ	なし	名前	32
				フリガナ	32
				TEL	26
				E-mail	80
		2.データ付	4行	名前	32
				フリガナ	32
				TEL	26
				E-mail	80
		3.コメント付	1行	名前	32
				フリガナ	32
				TEL	26
				E-mail	80
				コメント	32
	ブックマーク	1.QRコード®のみ	なし	URL	202
		2.データ付	1行	URL	202
		3.コメント付	1行	URL	202
				コメント	32
	フリーテキスト	1.QRコード®のみ	なし	データ	131
		2.データ1行付	1行	データ	131
		3.データ4行付	4行	データ1	32
				データ2	32
				データ3	32
				データ4	32
		4.コメント1行付	1行	データ	131
				コメント	32
		5.コメント4行付	4行	データ	131
				コメント1	32
				コメント2	32
				コメント3	32
				コメント4	32

■QRコード®ラベル作成の流れ



• QRコード®ラベル作成時(コメント入力時を除く)はQRコード®専用記号(134ページ)を入力することができます。ただし、記号一覧(133ページ)の記号や、絵文字一覧の絵文字(134ページ)、外字(110ページ)を入力することはできません。
コメント入力時は通常どおり記号、絵文字、外字の入力ができます。
QRコード®のデータ構成の関係で入力可能な文字を上記のように区別しております。
• QRコード®専用記号は、以下の操作で入力します。
1.94ページ「その他の記号」の手順1の操作をします。
2.△▽◁▷で入力したい記号を選び、実行を押します。

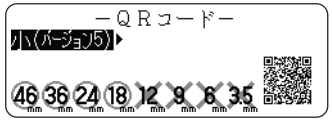
[例]

上記の印刷例に沿って操作を説明します。

1 **ON を押して、電源を入れます。**

2 **◁▷を押して「新規作成」を選び、実行を押します。**

3 **△▽◁▷を押して「QRコード」を選び、実行を押します。**



4 **◁▷を押してQRコード®のサイズを選び、実行を押します。**

5 **△▽を押してQRコード®のタイプを選び、実行を押します。**
ここでは「電話帳」を選びます。

6 **◁▷を押してフォーマットを選び、実行を押します。**
ここでは「3」を選びます。

フォーマットは以下の3種類から選びます。
1：QRコード®のみ印刷
2：QRコード®と入力したデータを印刷
3：QRコード®とコメントを印刷

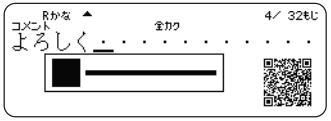
7 **名前を入力し、実行を押します。**
ここでは「田中大介」を入力します。

8 **自動的に入力されたフリガナが正しいかどうか確認し、必要に応じて修正してください。正しくフリガナが入力できたら、実行を押します。**
ここでは「タナカダ」と表示されます。

9 **電話番号を入力し、実行を押します。**
ここでは「0009998888」と入力します。

10 **メールアドレスを入力し、実行を押します。**
ここでは「d-tnk@casio.co.jp」と入力します。

11 **コメントを入力し、実行を押します。**
ここでは「よろしく」と入力します。



12 **◁▷を押して印刷を選び、実行を押します。**

13 **数字キー(または◁▷)を押して印刷枚数を設定し、▽を押します。**
1～100枚まで設定できます。

14 **◁▷を押してカットモードを設定し、実行を押します。**
印刷が開始されます。

- カットモードについて(69ページ)
- ラベルデータを登録する(73ページ)

伝言板を使う

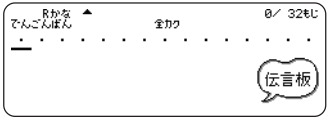
入力した伝言メッセージを表示画面に繰り返し、表示させることができます。

重要
- 表示専用の機能です。印刷はできません。
- 伝言メッセージは1行のみです。32文字まで入力できます。
- 伝言メッセージが表示されている状態で電源OFFした後に、ON を押すと画面に「前回データ」が表示されます。「前回データ」を選んで実行を押すと、伝言メッセージを呼び出すことができます。
- 伝言板のメッセージ表示中は、オートパワーオフ(節電)機能(18ページ)ははたらきません。

1 **ON を押して、電源を入れます。**

2 **◁▷を押して「新規作成」を選び、実行を押します。**

3 **△▽◁▷を押して「伝言板」を選び、実行を押します。**



4 **伝言メッセージを入力し、実行を押します。**
ここでは「午後3時までには戻ります」と入力します。

5 **◁▷を押して「表示」を選び、実行を押します。**
入力した伝言メッセージが表示されます。伝言メッセージは右から左に流れます。

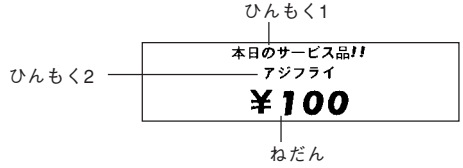
- ◁▷を押すと伝言メッセージが流れる速度を3段階で調整できます。
- 「表示」の代わりに「登録」を選び、実行を押すと入力した伝言メッセージを本機に記憶させておいて、後で呼び出して使うことができます。登録・呼出・削除の操作手順については75ページをご参照ください。
- 伝言板を使い終わったときは、取消しを押した後、◁▷を押して「終了」を選び、実行を押します。

値札・メニューラベルを作る(POPラベル)

商品の値札やメニューラベルを作ることができます。

重要 • 9mm幅以上のテープカートリッジを使用してください。

[印刷例]



1 **ON を押して、電源を入れます。**

2 **◁▷を押して「新規作成」を選び、実行を押します。**

3 **△▽◁▷を押して「POPラベル」を選び、実行を押します。**

4 **◁▷を押してラベルの種類を選び、実行を押します。**
ここでは「値札(18mm幅)」を選びます。

5 ◁▷を押してラベルの大きさを選び、実行を押します。
ここでは「大3」を選びます。

6 文字(ひんもく1)を入力し、実行を押します。
ここでは「本日のサービス品!!」と入力します。

7 2段目の文字(ひんもく2)を入力し、実行を押します。
ここでは「アジフライ」と入力します。

8 3段目の文字(ねだん)を入力し、実行を押します。
ここでは「￥100」と入力します。

9 ◁▷を押して印刷を選び、実行を押します。

10 数字キー(または◁▷)を押して印刷枚数を設定し、▽を押します。
1～100枚まで設定できます。

11 ◁▷を押してカットモードを設定し、実行を押します。
印刷が開始されます。

- カットモードについて(69ページ)
- ラベルデータを登録する(73ページ)

カレンダーラベルを作る

1ヶ月分のカレンダーラベルを作ることができます。
作成できる年月の範囲は、2000年1月～2099年12月までです。

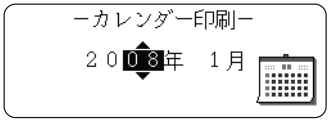
重要
- 18mm幅以上のテープカートリッジを使用してください。
- 1日単位または曜日単位で休日指定できます。
  休日は枠付きで印刷されます。
- 曜日の並び順を、日曜優先または月曜優先に切り替えることができます。
- 36mm幅、46mm幅のテープカートリッジ使用時には、フォントの指定ができます(和文4書体のみ)。

[印刷例]

1 ON を押して、電源を入れます。

2 ◁▷を押して「新規作成」を選び、実行を押します。

3 △▽◁▷を押して「カレンダー」を選び、実行を押します。



4 **〈〉を押して「年」と「月」を移動して、数字キー（または∧∨）を押して年月を指定し、実行を押します。**
ここでは「2008年3月」を指定します。

5 **∧∨〈〉を押してカーソルを移動し、フォント 1 ぬ を押すと休日に指定されます。**
ここでは「日」、「土」、および「20日」を休日指定します。

- 休日に指定されると反転表示となります。
- 曜日上で指定するとその曜日（縦1列）が、日にち上で指定すると1日単位で休日が指定されます。
- 休日指定された日にちの上でもう1度 フォント 1 ぬ を押すと指定が解除されます。

6 **単ボ 2 ハ を押して、曜日先頭が日曜か月曜かを設定し、実行を押します。**
ここでは「日曜」に設定します。

- 単ボ 2 ハ を押すごとに日曜先頭と月曜先頭が切り替わります。

7 **〈〉を押して印刷を選び、実行を押します。**

8 **数字キー（または〈〉）を押して印刷枚数を設定し、∨を押します。**
1～100枚まで設定できます。

9 **〈〉を押してカットモードを設定し、実行を押します。**
印刷が開始されます。

- カットモードについて（69ページ）
- ラベルデータを登録する（73ページ）

宛名ラベルを作る

封筒やハガキなどの宛名ラベルを作ることができます。

重要
- 24mm幅以上のテープカートリッジを使用してください。
- 宛名は100件まで、グループに分けて登録できます。

［印刷例］

（住所：2行/会社・所属：2行）

```
151−0071
東京都渋谷区本町0−1−2
第一本町ハハビルディングA棟1203
新東京○○企画販売株式会社
営業部第3営業課ビジネス拡販推進センター
山田　新太郎　様
```

■各項目の最大文字数

行	1行	2行	3行	4行	5行	6行	
入力項目	郵便番号	住所		会社・所属		名前	敬称
最大文字数	7文字	20文字	20文字	20文字	20文字	15文字	3文字

宛名の入力

1 **(ON) を押して、電源を入れます。**

2 **〈〉を押して「新規作成」を選び、[実行]を押します。**

3 **△▽〈〉を押して「宛名ラベル」を選び、[実行]を押します。**

```
ー宛名ラベルー
新規登録 一覧表示 終了

使用量      0/100件
```

4 **〈〉を押して「新規登録」を選び、[実行]を押します。**

5 **数字キーを押して郵便番号(7桁)を入力し[変換]を押すと郵便番号から住所に変換し、自動的に入力されます。**

- 郵便番号を入力せずに[実行]を押すと、住所の入力に進みます。
- 変換する候補が複数ある場合は、△▽を押して希望の候補を選んでください。

```
1510071                1/ 1
東京都渋谷区本町
```

6 **変換された住所を確認し、[実行]を押します。**

7 **住所の続きを入力し、[実行]を押します。**

- 住所は2行まで入力できます(最大40文字)。
- 1行は20文字までです。区切りの良いところで[↵]を押して改行してください。20文字を超えると自動的に改行されます。

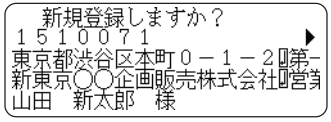
8 **会社・所属を入力し、実行を押します。**

- 会社・所属は2行まで入力できます(最大40文字)。
- 1行は20文字までです。区切りの良いところで↵を押して改行してください。20文字を超えると自動的に改行されます。

9 **名前を入力し、実行を押します。**
名前は最大15文字まで入力できます。

10 **敬称を入力し、実行を押します。**
敬称は「〜様」が初期設定されています。
変更したい場合は、必要に応じて修正、削除してください。

11 **△▽を押して登録したいグループを選び、実行を押します。**



12 **登録内容を確認し、実行を押します。**
登録内容が表示しきれず、右に隠れた文字がある場合は、◁▷を押して画面をスクロールさせて確認してください。

13 **登録が完了すると、「登録完了」と表示されて、手順3の画面に戻ります。実行を押します。**
引き続き、他の宛名を登録する場合は、手順**4**〜**13**を繰り返してください。

宛名ラベルの印刷

1 **ON を押して、電源を入れます。**

2 **◁▷を押して「登録データ」(または「新規作成」)を選び、実行を押します。**

3 **◁▷(手順2で「新規作成」を選んだ場合は、△▽◁▷)を押して「宛名ラベル」を選び、実行を押します。**

4 **◁▷を押して「一覧表示」を選び、実行を押します。**

5 **△▽を押して印刷したいグループを選び、実行を押します。**
「グループなし」か3つのグループのどれか、または「すべて」が選べます。

6 **△▽を押して「グループ一括印刷」を選び、実行を押します。**

7 **「一括印刷しますか？」と表示されたら、実行を押します。**

8 **◁▷を押してカットモードを設定し、実行を押します。**
印刷が開始されます。印刷枚数の指定はできません。

- カットモードについて(69ページ)

1件ずつ印刷するには

① 手順**6**で ∧ ∨ を押して **詳細表示** を選び、 実行 を押します。
② ∧ ∨ を押して印刷したい宛名を選び、 実行 を押します。
③ ＜ ＞ を押して **印刷** を選び、 実行 を押します。
以下、手順**8**へ進みます。

宛名の内容を修正するには

① 手順**6**で ∧ ∨ を押して **詳細表示** を選び、 実行 を押します。
② ∧ ∨ を押して修正したい宛名を選び、 実行 を押します。
③ ＜ ＞ を押して **修正** を選び、 実行 を押します。
④ 修正の確認メッセージが表示されたら 実行 を押します。
⑤「宛名の入力」の手順**5**～**10**と同様の手順で内容を修正し、 実行 を押します。
⑥ 上書き登録の確認メッセージが表示されるので、 実行 を押すと「登録完了」と表示され、宛名の内容が修正されます。

宛名の内容を流用するには

① 手順**6**で ∧ ∨ を押して **詳細表示** を選び、 実行 を押します。
② ∧ ∨ を押して流用したい宛名を選び、 実行 を押します。
③ ＜ ＞ を押して **流用** を選び、 実行 を押します。
④ 流用の確認メッセージが表示されたら 実行 を押します。
⑤「宛名の入力」の手順**5**～**10**と同様の手順で内容を修正し、 実行 を押します。
⑥ 新規登録の確認メッセージが表示されるので、 実行 を押すと「登録完了」と表示され、宛名が新規登録されます。

宛名の内容を削除するには

① 手順**6**で ∧ ∨ を押して **詳細表示** を選び、 実行 を押します。
② ∧ ∨ を押して削除したい宛名を選び、 実行 を押します。
③ ＜ ＞ を押して **削除** を選び、 実行 を押します。
④ 削除の確認メッセージが表示されたら 実行 を押します。
⑤「削除完了」と表示され、宛名が削除されます。

グループ名を変更するには

① 手順**6**で ∧ ∨ を押して **グループ名変更** を選び、 実行 を押します。
② グループ名を変更し 実行 を押すと、「登録完了」と表示されて新しいグループ名に変更されます。
※ 登録データのないグループではグループ名は変更できません。
また、「グループなし」のグループ名は変更できません。

印刷とカットモード

印刷するときには以下の点に注意してください。
- 27ページ「ラベルを貼る」、「テープを空送りする」、「テープの余白を「送り無」にしたときは」をご参照の上、操作してください。

重要
- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。（12ページ）
- 印刷中は、テープ通路付近に触れないでください。オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、取消しを押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- 黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため"印刷準備中"と表示されて、印刷を一時停止することがあります。
  プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。
- "印刷準備中"の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。（118ページ）
- 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

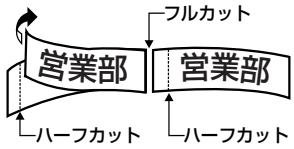
カットモード（オートカッター）について

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

※下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「特殊テープ」または「カットしない」に設定して使用してください。

•布転写テープ •インスタントレタリングテープ	**特殊テープ**
•マグネットテープ •反射テープ •アイロン布テープ	**カットしない**

■カットのしかたについて



カットのしかたには2つあります。

●ハーフカット

台紙はカットせずに、シール部分だけをカットします。はがすときは、ハーフカットした部分からはがしてください。

※「テープ幅の細い3.5ｍｍや6㎜テープ」や「薄いメンディングテープ」は、ハーフカットできないことがあります。

●フルカット

台紙もシールもカットします。

⚠ 注意

オートテープカッターに注意する

電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

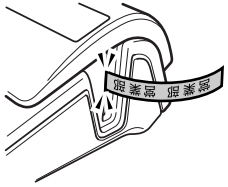
■4つのカットモード

カットモードには4つあります。

- カットモードは、「印刷する」の手順**4**(26ページ) で設定します。
- 余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」(72ページ)をご覧ください。
- 書式で「余白　送り無」に設定したときは、どのカットモードを選択しても、フルカットとハーフカットはされません。(27ページ)
- テープの長さが「余白小のときは、約30mm以下」、「余白中のときは、約37mm以下」、「余白大のときは、約47mm以下」の場合は、自動的にはフルカットやハーフカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

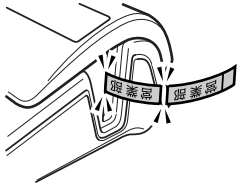
●通常

- ラベル間はハーフカットされます。台紙がつながっているので、ラベルがバラバラになることがありません。
- 先頭には余白がつき、はがしやすいようにハーフカットされます。
- すべての印刷が終了すると、フルカットされます。



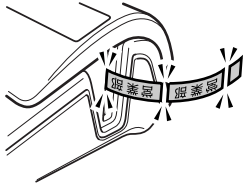
●切り離す

- ラベルごとにフルカットします。
  ※2枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープ詰まりや故障の原因となります。
- 各ラベルの先頭には余白がつき、はがしやすいようにハーフカットされています。



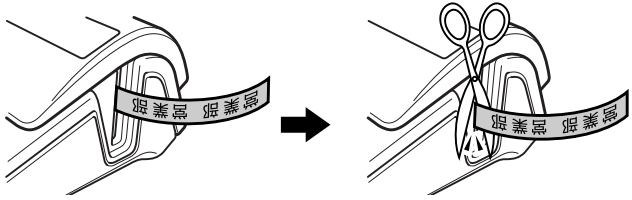
●特殊テープ

- 布転写テープ・インスタントレタリングテープに印刷するときに設定します。
- 各ラベルごとにフルカットされます。
- 「余白　小」「余白　中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。



●カットしない

- ラベル間はカットしません。
- テープをカットするための余白を入れずに印刷できるので、ラベルが節約できます。
- マグネット・反射テープ・アイロン布テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、 機能 を押し、指を離してから テープ送り 0 を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープについて
反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープは特殊な処理をしてあるテープです。
カットするときは、フルカット/ハーフカットを行わずに、下記の手順にしたがってハサミなどをお使いください。
なお、本機のフルカット/ハーフカットで**反射テープ**や、**マグネットテープ、アイロン布テープ**をカットすると、カッター部分の寿命が短くなり、ハーフカッター部分が破損することがあります。ご注意ください。

1 書式の全文書式で、余白を「送り無」にする（42ページ）
またはカットモードで「カットしない」にする
2 印刷する
3 機能 テープ送り 0 と押して、テープ送りをする
4 反射テープ、マグネットテープまたはアイロン布テープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする
※ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

・カットモードと余白の設定によって、カットのしかた(フルカット／ハーフカット)と余白の長さは異なります。
・下記の余白の長さは標準値であり、個々の条件によって誤差が生じることがあります。

カットモード		通常			切り離す			特殊テープ			カットしない		
カットのタイミング ＼ 余白		先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット
余白小	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	18㎜	3㎜	3㎜	18㎜※1 5㎜※2	3㎜	3㎜	23㎜	3㎜	3㎜	23㎜	3㎜	3㎜
余白中	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	11㎜	10㎜	10㎜	11㎜※1 5㎜※2	10㎜	10㎜	23㎜	10㎜	10㎜	23㎜	10㎜	10㎜
余白大	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	無し	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	5㎜	21㎜	21㎜	5㎜※1 5㎜※2	21㎜	21㎜	−	21㎜	21㎜	−	21㎜	21㎜
送り無	カット	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
	余白	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

※1：1枚目の印刷のとき
※2：2枚目以降の印刷のとき

作成したデータを登録する・呼び出す

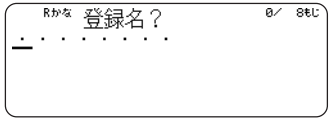
作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

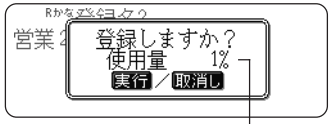
データに名前をつけて登録します。

文字の入力が終わるとこの画面になります

1 ◁▷を押して**登録**を選び、実行を押します。



2 **登録名を入力し、実行を押します。**
登録名は8文字まで入力できます。外字、半角の入力はできません。



すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

3 実行を押します。

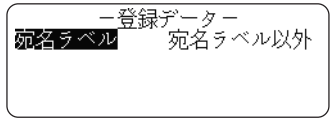
登録名
記憶させるときは、データに名前(登録名)をつけます。これは、あとでデータの内容を呼び出すときに、名前で探すためです。

「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録したデータを呼び出す

登録したデータは、作成方法画面(30ページの手順1の画面)から呼び出します。

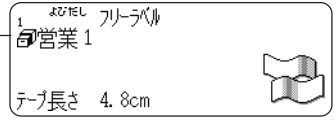
1 ◁▷を押して「登録データ」を選び、実行を押します。



2 ◁▷を押して**宛名ラベル以外**を選び、実行を押します。

3 ◁▷を押して**データ呼出し**を選び、実行を押します。

登録名が表示されます

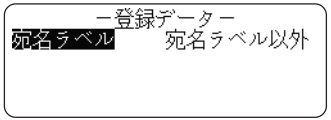


4 △▽を押して呼び出したいデータの登録名を探し、実行を押します。
データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面(30ページの手順1の画面)から削除することができます。

1 **◁▷を押して「登録データ」を選び、実行を押します。**



2 **◁▷を押して宛名ラベル以外を選び、実行を押します。**

3 **◁▷を押してデータ削除を選び、実行を押します。**

4 **△▽を押して削除したいデータの登録名を探し、実行を押します。**

「削除しますか？」と表示されます。

5 **実行を押します。**

- 「削除完了」と表示され、他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。
  引き続き、削除することができます。
- データ削除の操作をやめるときは 取消し を押します。

データのバックアップをする(DATA STOCK TOOL)

付属のCD-ROMに収録されている「DATA STOCK TOOL」を使うと、本機で登録したデータをパソコンに保存することができます。万一、登録データが消失したときは、保存しておいたデータを呼び出して、保存したときと同じ状態に戻すこともできます。バックアップは、メインメニュー表示中に行うことができます。

重要 **バックアップできるのは、宛名ラベル、フリーラベルなどの登録データおよび、外字、プリセットタイトル、ユーザー辞書などのデータです。**
設定、コピー・ペースト、前回データはバックアップできません。

1 **別紙の「はじめにお読みください」を参照して、以下の準備をします。**
- 「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」の説明にしたがって、DATA STOCK TOOLとプリンタードライバーをインストールする。
- 「パソコンと接続する」の説明にしたがって、本機とパソコンをUSBケーブル(市販のもの)で接続する。

2 **本機の 機能 を押し、指を離してから 8 を押します。**

3 **▲▼◀▶を押して、バックアップを選び、実行を押します。**
画面に「通信準備完了」と表示されていることを確認します。

4 **パソコン側で、Windows®の「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「CASIO」-「DATA STOCK TOOL」-「DATA STOCK TOOL」をクリックします。**

これ以降の操作については、DATA STOCK TOOLの操作画面で、[ヘルプ]ボタンをクリックして表示される説明をご覧ください。

MEMO